

# 2014年衆院選世論調査分析

2016年12月

慶應義塾大学濱岡ゼミ15期 樋口舵

1

# 目次

- 分析目的
- 事例研究
- 先行研究
- データ説明
- 分析方法
- 分析結果
- 考察
- まとめ
- 今後の課題
- 謝辞
- 参考文献
- 参考資料

# 分析目的

- 第47回衆院選の調査データを分析することによって有権者の投票行動（政党選択、投票率、政策評価）決定要因を探る。

# 第47回衆議院総選挙

党	経済政策	集団的自衛権	原発のあり方
自民	企業収益が増え、雇用や賃金の増加を伴うアベノミクスの好循環の流れを止めず、全国へ広げる	7月の閣議決定に基づき、平時から切れ目のない対応を可能とする安全保障法制を速やかに整備	原子力は安全性の確保を大前提に、重要なベースロード電源との位置付けの下、活用していく
民主	アベノミクスからの転換。「厚く、豊かな中間層」を復活させ、持続的な経済成長を実現	専守防衛と平和主義を堅持。集団的自衛権の行使を容認した閣議決定は撤回	2030年代の原発ゼロに向け、再生可能エネルギーの導入など、あらゆる政策資源を投入
維新	アベノミクスでは経済再生も国民生活を守ることもできない。規制改革や地方の活力で成長性高める	自国への攻撃か他国への攻撃かを問わず、現行憲法下で可能な自衛権行使を具体化し、法整備を実施	電力自由化の推進や発送電分離と電力市場取引の拡大などで原発はフェードアウトへ

# 第47回衆議院総選挙

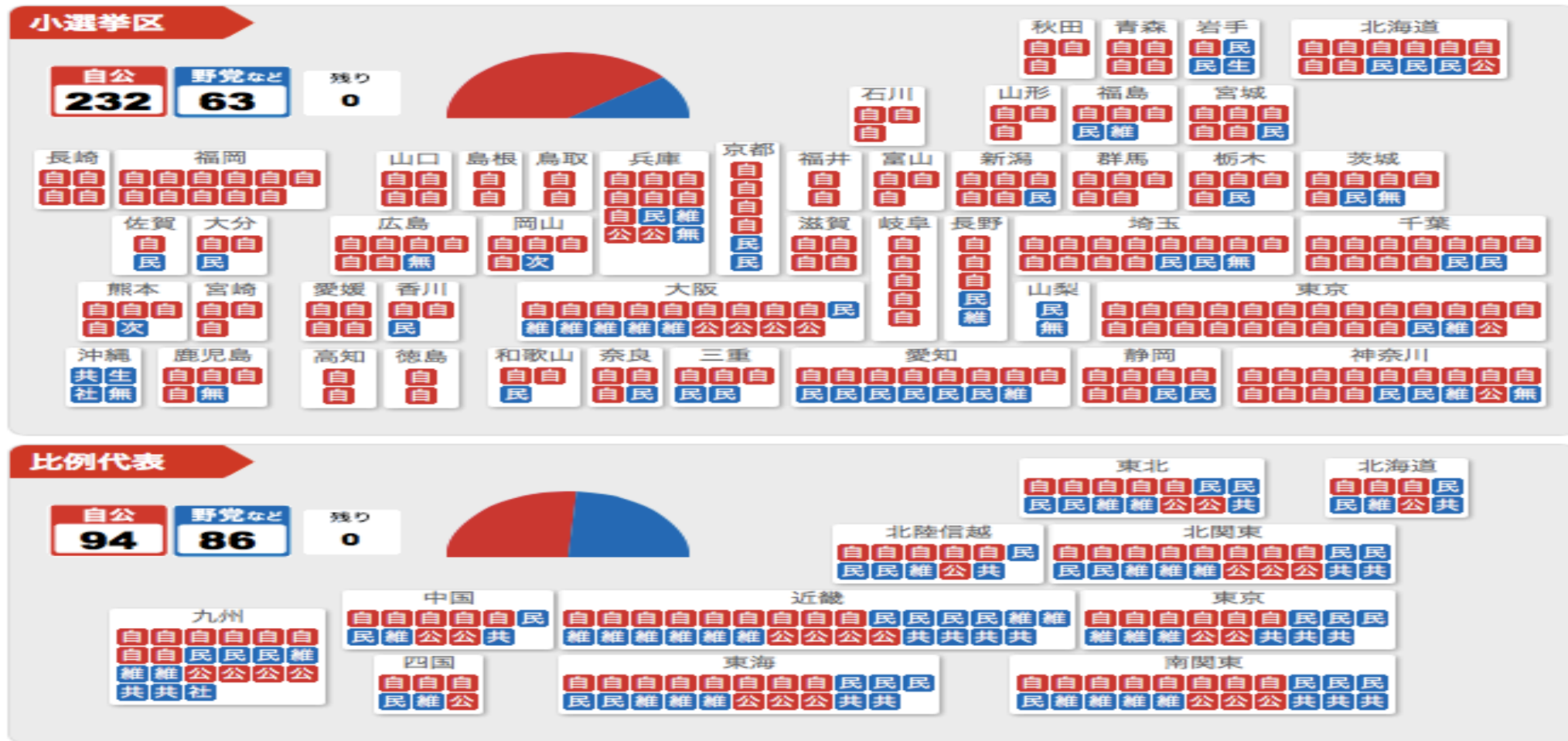


- トップ
- 開票結果
- 注目候補
- 公約
- 企画・連載

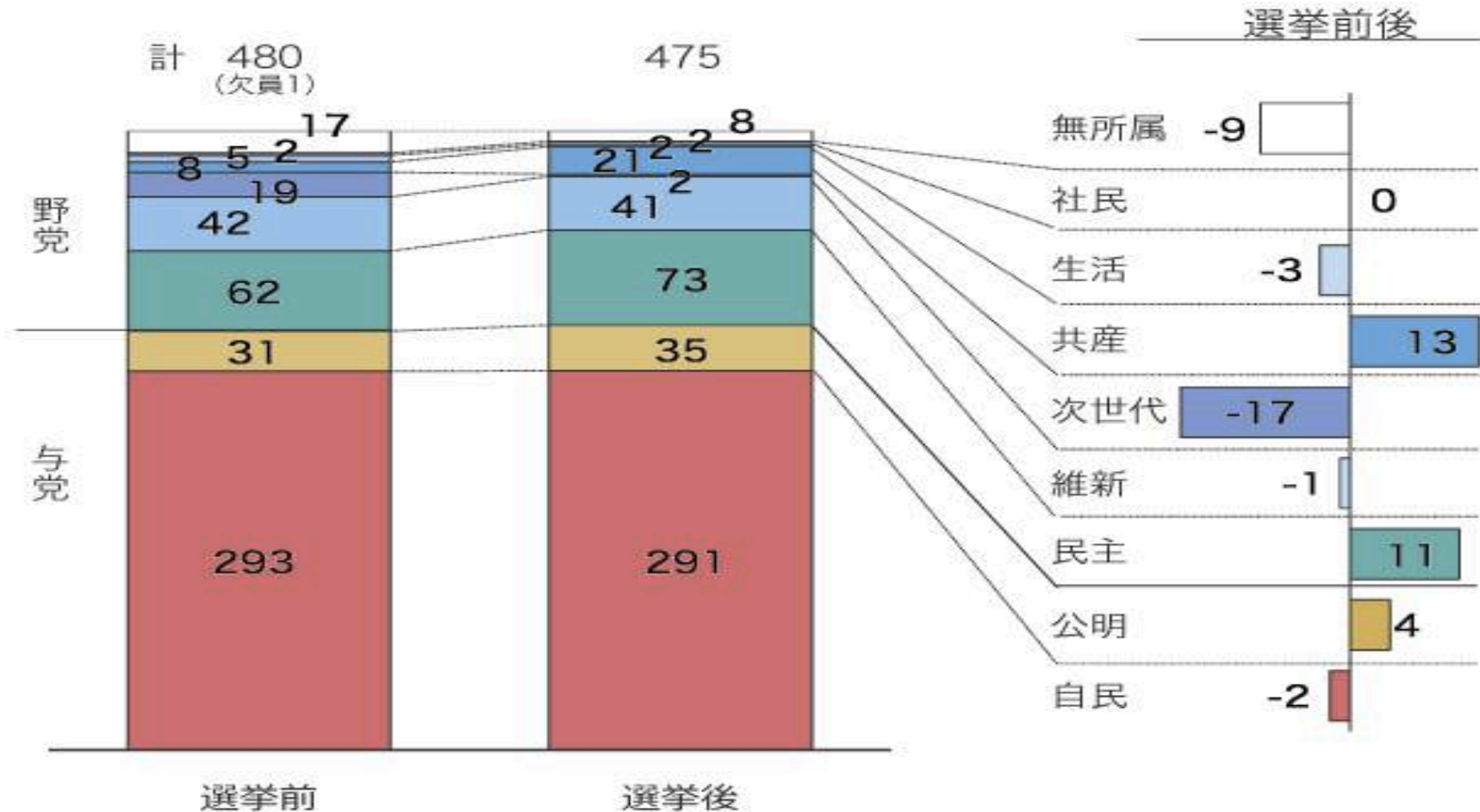


出所) <http://www.yomiuri.co.jp/election/shugiin/2014/>

# 第47回衆議院総選挙



# 第47回衆議院総選挙



出所) <http://docs.yahoo.co.jp/info/bigdata/election/2014/03/>

# 第47回衆議院総選挙

- 与党の自民、公明両党は**325**議席を獲得し、定数**3分の2** (**317**議席) を上回った→法案の再可決や憲法改正の発議権利獲得
- 前回から今回までにかけて、各党の獲得議席数結果を見ると自民党と維新の党はほぼ変わらず、公明党が微増、民主党と共産党は議席を大きく増やし、次世代の党は激減した
- 小選挙区の投票率は**52%**前後と推計されていて、戦後最低だった前回の**59.3%**を下回った



# 先行研究

## 黒澤遼太、田中悠詩、平野貴羅「**2012年衆院選世論調査の分析**」

- 今回の世論調査分析にあたってデータ選択や分析手法など、全体的な研究の進め方やスライドの作成は資料を参考にして研究を行った
- **2012年衆院選**では自民党が大勝して、民主党から自民党への政権交代となった
- 投票率が**59.3%**と推計され、当時では過去最低数値であった

出所) [http://news.fbc.keio.ac.jp/~hamaoka/GRAD\\_13/3f-kurotanahira.pdf](http://news.fbc.keio.ac.jp/~hamaoka/GRAD_13/3f-kurotanahira.pdf)

# 先行研究

誰に投票するのかを説明するモデル

- ミシガンモデル(心理学モデル)

→ 政党支持、政策評価、候補者評価の3要因が投票を決める

→ その中でも政党支持の影響が一番大きい

- 業績投票(フィオリーナ)

→ 今までの大統領や与党の業績を見て投票するかどうかを決めている

出所) <http://kame.la.cocan.jp/classroom/sei06.pdf>

# 先行研究

## ライカーらの投票参加モデル

- $R = P \times B - C + D$
- $R \rightarrow$  有権者個人が投票によって得られる効用
- $B \rightarrow$  有権者が最も好む候補者が当選したときに得られる利得と、最も好まない候補者が当選したときの利得との差
- $P \rightarrow$  投票によって  $B$  を得る有権者個人の主観的確率
- $C \rightarrow$  投票に際して生ずる有権者のコスト
- $D \rightarrow$  市民としての義務感、または民主主義システムが維持されることに対する長期的な利益
- このモデルで有権者は  $R$  の値がゼロより大きい場合には投票し、ゼロより小さい場合には棄権するということになる。

出所) <http://www.yomiuri.co.jp/adv/chuo/research/20110630.html>

# データ説明

- **第47回衆議院総選挙（2014年12月14日投票）直後、東京大学谷口研究室と朝日新聞社が共同で世論調査を行った**  
**(<http://www.masaki.j.u-tokyo.ac.jp/utas/utasv.html>)**
- **全国の有権者から層化二段無作為抽出法で抽出された3000人を対象に郵送法によって調査**
- **投票日前日の12月13日に調査票を発送し、1月末までに1813通の有効回答（回収率60.4%）**

# 分析における基本事項

# 基本事項（分析方法）

- 多項ロジット分析、二項ロジット分析とは...「説明」や「予測」を目的
- 線形回帰分析と違って、従属変数が質的変数である場合に用いる
- 従属変数が3つ以上の場合 = 多項ロジット分析

# 基本事項～政党選択～

■ 政党選択に関する分析における被説明変数 → 二項ロジット分析

1. 与党ダミー (自公)

0. 野党ダミー

■ 政党選択に関する分析における被説明変数 → 多項ロジット分析

1. 与党ダミー (自公)

2. 民主ダミー

3. 維新ダミー

4. 共産党ダミー

5. その他

# 基本事項～投票率～

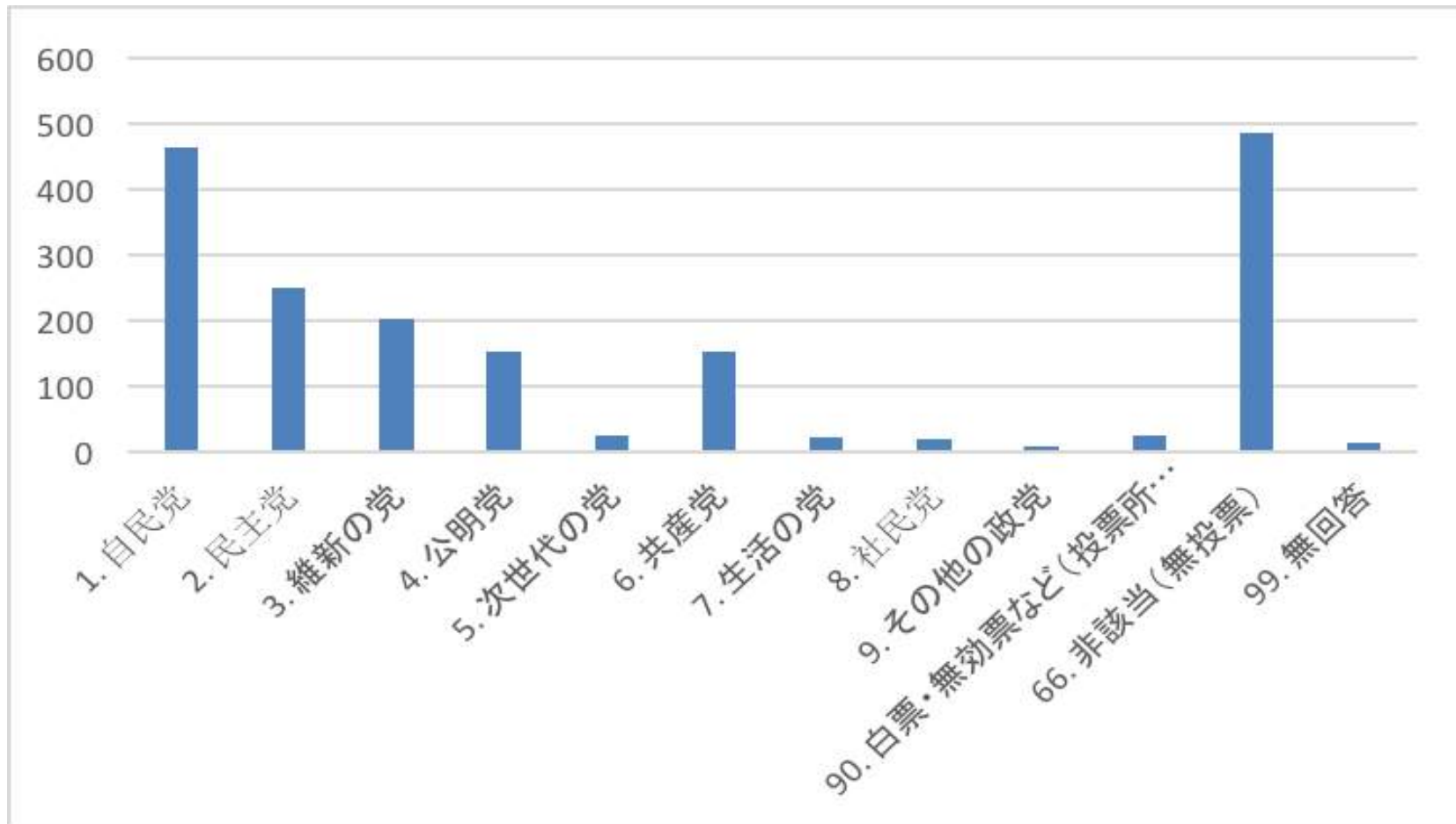
- 投票率に関する分析における被説明変数

1.投票した

0.投票しなかった



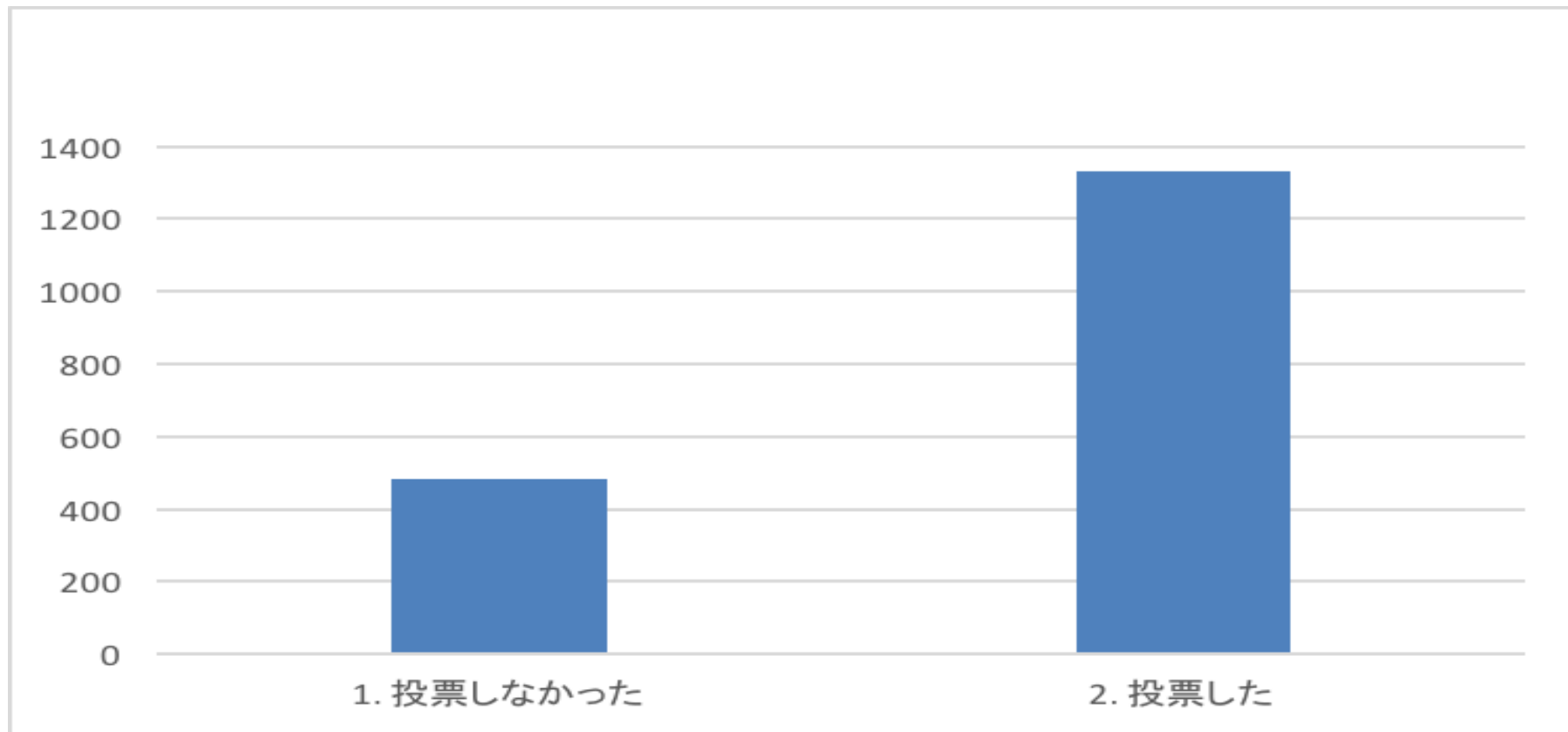
# 基本事項（被説明変数の単純集計結果）



# 基本事項（被説明変数の単純集計結果）

- 政党選択においては前述の通り、以上の集計結果から**5**つの被説明変数を設定した。
- 実際の選挙結果同様に自民が多く得票数を得ていることが読み取れる。

# 基本事項（被説明変数の単純集計結果）



## 基本事項（被説明変数の単純集計結果）

- 投票率に関する分析を行う際の被説明変数の単純集計結果は以上の様になった。

## 基本事項（変数の単純集計結果について）

- 今回、説明変数を与えられた調査データから政策評価と憲法改正について分析

### 各変数の単純集計結果について

- 今回の分析で利用した変数の単純集計結果は巻末に参考資料として示しておく。

# 分析方法

## データサンプル修正

- 問7～問17... 「99. 無回答」 → 「3」 へ
- 問7～問17... 「1. 賛成」 → 「1. 反対」 へ
- 同様に、「2」「4」「5」も変更してそれぞれ逆に
- F2... 「99. 無回答」 → 「6」 へ

# 分析結果

## ～政党選択と政策評価との関係～

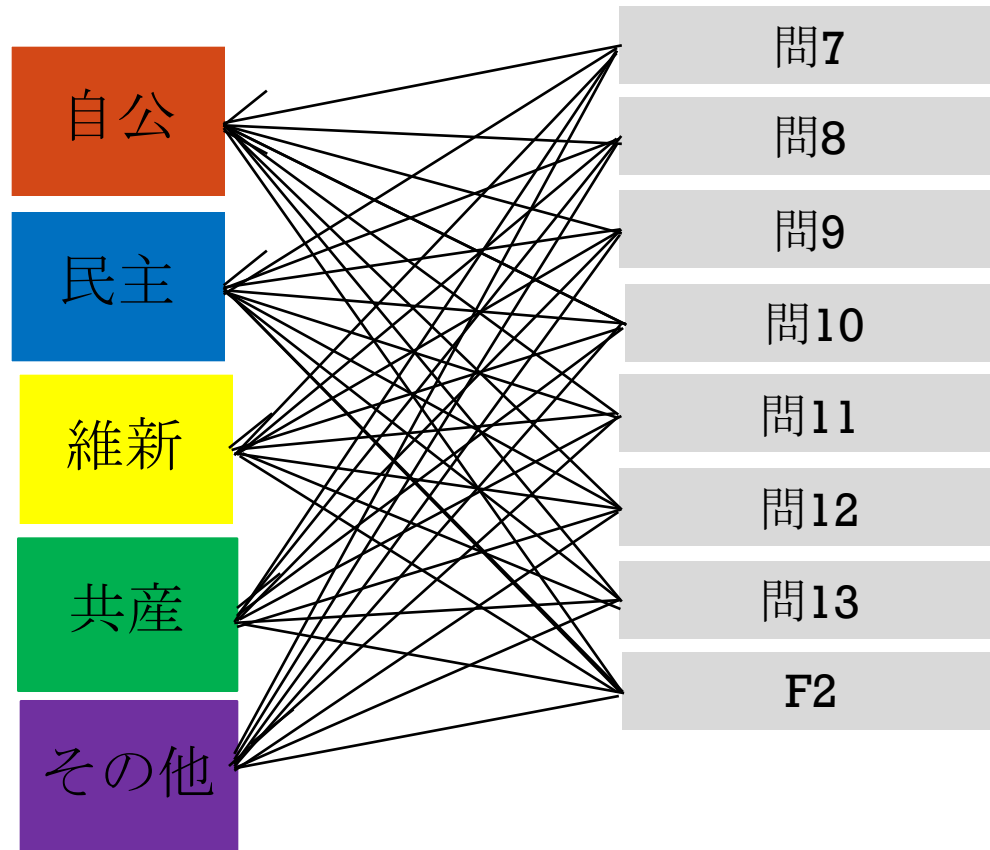
- 多項ロジット分析

# 説明変数について(政党選択の分析(政策評価との関係))

- Q7国の政治を信頼してるか (1. まったく信頼していない～4. いつも信頼している)
- Q8安倍首相は仕事してるか (1. よくやっているとは思わない～5. よくやっていると思う～)
- Q9特定秘密保護法を評価してるか (1. まったく評価しない～5. 大いに評価する)
- Q10集団的自衛権の行使を認める閣議決定を評価するか (1. まったく評価しない～5. 大いに評価する)
- Q11日本の景気はどう思うか (1. かなり悪い～5. かなり良い)
- Q12暮らしはどうか (1. かなり悪い～5. かなり良い)
- Q13消費税増税に賛成か (1. 反対～5. 賛成)
- **F2** あなたは、**2014年12月14日**現在では何十歳代か (1. 20歳代～6. 70歳以上)



# パス図(政党選択の分析(政策評価との関係))



自民党を基準とするダミー変数

# 分析結果(政党選択の分析(政策評価との関係))～民主党～

投票先	項目	係数	標準誤差	z値	p値
民主	(Intercept)	4.10	0.49	8.32	< 2.2e-16 ***
	Q7国の政治を信頼してるか	-0.24	0.12	-1.99	0.04 *
	Q8安倍首相は仕事してるか	-0.47	0.10	-4.61	3.968e-06 ***
	Q9特定秘密保護法を評価してるか	-0.49	0.11	-4.53	5.694e-06 ***
	Q10集団的自衛権の行使を認める閣議決定を評価するか	-0.27	0.09	-2.94	0.003 **
	Q11日本の景気はどう思うか	-0.06	0.10	-0.62	0.53
	Q12暮らしはどうか	0.02	0.12	0.22	0.82
	Q13消費税増税に賛成か	0.02	0.07	0.39	0.69
	F2選挙時点での年齢	-0.02	0.04	-0.50	0.61
	※有意水準について ***:0.1%水準 ** :1%水準* :5%水準.:10%水準 ※有効数字は小数第四位を四捨五入して小数第三位まで示す。				

# 分析結果(政党選択の分析(政策評価との関係)) ～維新の党～

投票先	項目	係数	標準誤差	z値	p値
維新	(Intercept)	2.48	0.62	3.98	6.816e-05 ***
	Q7国の政治を信頼してるか	-0.56	0.15	-3.59	0.0003 ***
	Q8安倍首相は仕事してるか	-0.18	0.13	-1.38	0.16
	Q9特定秘密保護法を評価してるか	-0.22	0.13	-1.64	0.10
	Q10集団的自衛権の行使を認める閣議決定を評価するか	-0.10	0.11	-0.91	0.36
	Q11日本の景気はどう思うか	-0.03	0.13	-0.26	0.79
	Q12暮らしはどうか	0.06	0.15	0.41	0.67
	Q13消費税増税に賛成か	-0.10	0.09	-1.10	0.26
	F2選挙時点での年齢	-0.04	0.06	-0.75	0.45
	※有意水準について ***:0.1%水準 ** :1%水準* :5%水準.:10%水準 ※有効数字は小数第四位を四捨五入して小数第三位まで示す。				

# 分析結果(政党選択の分析(政策評価との関係)) ～共産党～

投票先	項目	係数	標準誤差	z値	p値
共産	(Intercept)	1.11	0.64	1.71	0.08 .
	Q7国の政治を信頼してるか	-0.13	0.15	-0.85	0.39
	Q8安倍首相は仕事してるか	-0.32	0.13	-2.35	0.01 *
	Q9特定秘密保護法を評価してるか	-0.15	0.14	-1.07	0.28
	Q10集団的自衛権の行使を認める閣議決定を評価するか	-0.24	0.12	-1.98	0.04 *
	Q11日本の景気はどう思うか	-0.07	0.13	-0.55	0.58
	Q12暮らしはどうか	-0.005	0.16	-0.03	0.97
	Q13消費税増税に賛成か	-0.006	0.09	-0.06	0.94
	F2選挙時点での年齢				
	※有意水準について ***:0.1%水準 ** :1%水準* :5%水準.:10%水準 ※有効数字は小数第四位を四捨五入して小数第三位まで示す。				

# 分析結果(政党選択の分析(政策評価との関係) ～その他野党～

投票先	項目	係数	標準誤差	z値	p値
その他	(Intercept)	5.93	0.55	10.61	< 2.2e-16 ***
	Q7国の政治を信頼してるか	-0.62	0.14	-4.33	1.467e-05 ***
	Q8安倍首相は仕事してるか	-0.55	0.11	-4.89	9.731e-07 ***
	Q9特定秘密保護法を評価してるか	-0.52	0.12	-4.09	4.180e-05 ***
	Q10集団的自衛権の行使を認める閣議決定を評価するか	-0.24	0.10	-2.36	0.01 *
	Q11日本の景気はどう思うか	0.04	0.12	0.39	0.69
	Q12暮らしはどうか	-0.02	0.13	-0.22	0.82
	Q13消費税増税に賛成か	-0.31	0.09	-3.36	0.0007 ***
	F2選挙時点での年齢	-0.02	0.05	-0.47	0.63
	※有意水準について ***:0.1%水準 ** :1%水準* :5%水準.:10%水準 ※有効数字は小数第四位を四捨五入して小数第三位まで示す。				

# 考察

## ～政党選択と政策評価との関係～

- 政治の信頼に関して維新の党やその他野党の政策が与党と比べて負の相関がある
- 特定秘密保護法の成立に対して評価している人にとって民主党は選択されない
- 日本の景気状況や暮らしなどといった要因はどの党も相関がない→当時の経済状況はそこまで不安定ではなく満足であった可能性

# 分析結果 ～政党選択と憲法改正との関係～

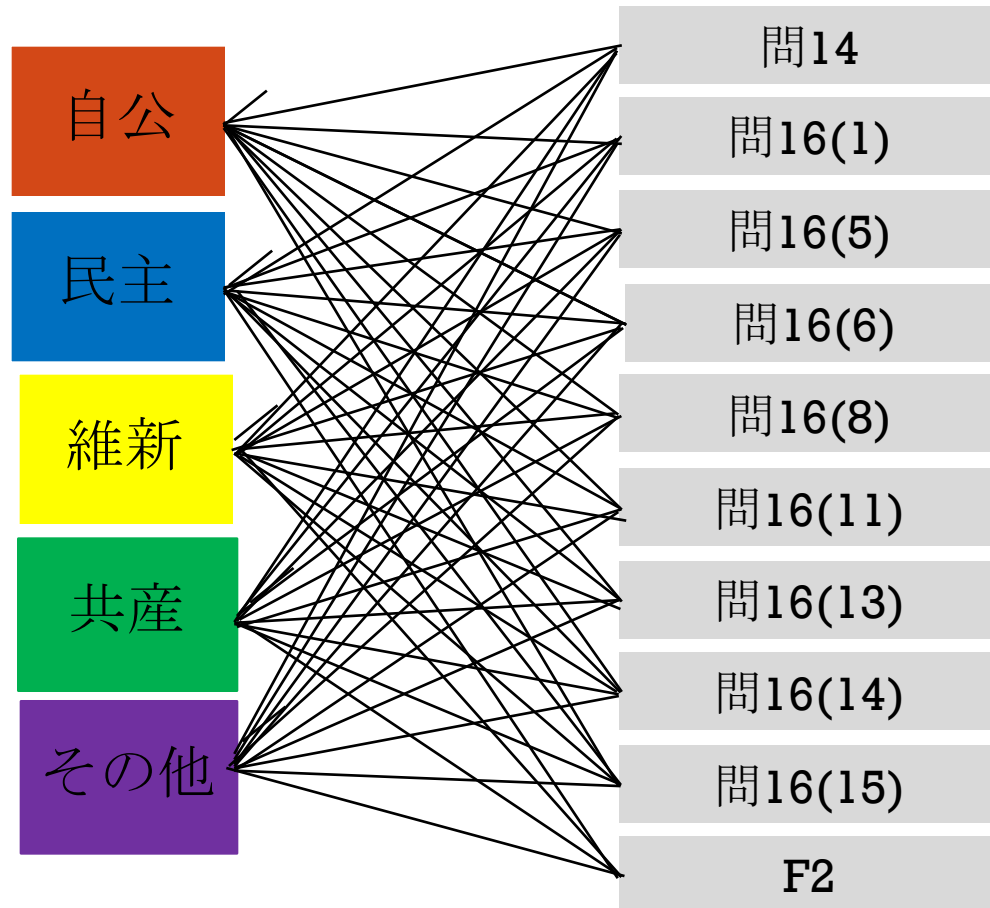
- 多項ロジット分析

# 説明変数について(政党選択の分析(憲法改正との関係))

- Q14憲法を改正すべきだ
  - Q16 (1)日本の防衛力はもっと強化すべきだ
  - Q16 (5)社会福祉など政府のサービスが悪くなっても、お金のかからない小さな政府の方が良い
  - Q16 (6)公共事業による雇用確保は必要だ
  - Q16 (8)長期的には消費税率が10%よりも高くなるのはやむをえない
  - Q16 (11)治安を守るためにプライバシーや個人の権利が制約されるのは当然だ
  - Q16 (13)外国人労働者の受け入れを進めるべきだ
  - Q16 (14)道徳教育をもっと充実させるべきだ
  - Q16 (15)原子力規制委員会の審査に合格した原子力発電所は運転を再開すべきだ
- ※上の質問はいずれも5段階のリッカート尺度で測定されている (1. 反対～5. 賛成)
- **F2** あなたは、**2014年12月14日**現在では何十歳代か (1. 20歳代～6. 70歳以上)



# パス図(政党選択の分析(憲法改正との関係))



自民党を基準とするダミー変数

# 分析結果(政党選択の分析(憲法改正との関係)) ～民主党～

投票先	項目	係数	標準誤差	z値	p値
民主	(Intercept)	2.85	0.84	3.38	0.0007 ***
	Q14憲法を改正すべきだ	-0.90	0.12	-7.42	1.092e-13 ***
	Q16 (1)日本の防衛力はもっと強化すべきだ	-0.14	0.11	-1.28	0.19
	Q16 (5)社会福祉など政府のサービスが悪くなくても、お金のかからない小さな政府の方が良い	-0.02	0.10	-0.28	0.77
	Q16 (6)公共事業による雇用確保は必要だ	0.23	0.11	2.04	0.04 *
	Q16 (8)長期的には消費税率が10%よりも高くなるのはやむをえない	-0.12	0.08	-1.56	0.11
	Q16 (11)治安を守るためにプライバシーや個人の権利が制約されるのは当然だ	-0.01	0.09	-0.12	0.89
	Q16 (13)外国人労働者の受け入れを進めるべきだ	-0.01	0.10	-0.10	0.91
	Q16 (14) 道徳教育をもっと充実させるべきだ	-0.36	0.12	-2.91	0.003 **
	Q16 (15)原子力規制委員会の審査に合格した原子力発電所は運転を再開すべきだ	0.27	0.09	3.05	0.002 **
	F2選挙時点での年齢	0.02	0.05	0.33	0.73

※有意水準について

\*\*\*p < 0.01 水準 \*\*p < 0.05 水準 \*p < 0.10 水準

# 分析結果(政党選択の分析(憲法改正との関係)) ～維新の党～

投票先	項目	係数	標準誤差	z値	p値	
維新	(Intercept)	5.05	0.90	5.57	2.478e-08 ***	
	Q14憲法を改正すべきだ	-1.16	0.13	-8.79	< 2.2e-16 ***	
	Q16 (1)日本の防衛力はもっと強化すべきだ	-0.14	0.11	-1.26	0.20	
	Q16 (5)社会福祉など政府のサービスが悪くなくても、お金のかからない小さな政府の方が良い	-0.23	0.10	-2.19	0.02 *	
	Q16 (6)公共事業による雇用確保は必要だ	0.13	0.12	1.10	0.26	
	Q16 (8)長期的には消費税率が10%よりも高くなるのはやむをえない	-0.22	0.08	-2.58	0.009 **	
	Q16 (11)治安を守るためにプライバシーや個人の権利が制約されるのは当然だ	0.03	0.10	0.31	0.75	
	Q16 (13)外国人労働者の受け入れを進めるべきだ	0.10	0.11	0.89	0.37	
	Q16 (14) 道徳教育をもっと充実させるべきだ	-0.35	0.12	-2.76	0.005 **	
	Q16 (15)原子力規制委員会の審査に合格した原子力発電所は運転を再開すべきだ	0.15	0.09	1.66	0.09 .	
	F2選挙時点での年齢	-0.09	0.06	-1.49	0.13	
	※有意水準について ***:0.1%水準 **:1%水準* :5%水準.:10%水準 ※有効数字は小数第四位を四捨五入して小数第三位まで示す					

# 分析結果(政党選択の分析(憲法改正との関係)) ～共産党～

投票先	項目	係数	標準誤差	z値	p値	
共産	(Intercept)	29.86	1749.24	0.01	0.98	
	Q14憲法を改正すべきだ	-22.36	1749.24	-0.01	0.98	
	Q16 (1)日本の防衛力はもっと強化すべきだ	-0.33	0.20	-1.59	0.11	
	Q16 (5)社会福祉など政府のサービスが悪くなくても、お金のかからない小さな政府の方が良い	-0.30	0.19	-1.54	0.12	
	Q16 (6)公共事業による雇用確保は必要だ	0.12	0.21	0.59	0.55	
	Q16 (8)長期的には消費税率が10%よりも高くなるのはやむをえない	-0.31	0.16	-1.85	0.06 .	
	Q16 (11)治安を守るためにプライバシーや個人の権利が制約されるのは当然だ	0.02	0.18	0.16	0.87	
	Q16 (13)外国人労働者の受け入れを進めるべきだ	0.22	0.21	1.02	0.30	
	Q16 (14) 道德教育をもっと充実させるべきだ	-0.52	0.22	-2.28	0.02 *	
	Q16 (15)原子力規制委員会の審査に合格した原子力発電所は運転を再開すべきだ	0.05	0.19	0.26	0.79	
	F2選挙時点での年齢	-0.04	0.14	-0.29	0.77	
	※有意水準について					
	***:0.1%水準 **:1%水準 *:5%水準 .:10%水準					
	※有効数字は小数第四位を四捨五入して小数第三位までを示す					

# 分析結果(政党選択の分析(憲法改正との関係) ～その他野党～

投票先	項目	係数	標準誤差	z値	p値	
その他	(Intercept)	5.82	1.52	3.81	0.0001338 ***	
	Q14憲法を改正すべきだ	-2.70	0.26	-10.28	< 2.2e-16 ***	
	Q16 (1)日本の防衛力はもっと強化すべきだ	-0.16	0.18	-0.88	0.37	
	Q16 (5)社会福祉など政府のサービスが悪くなくても、お金のかからない小さな政府の方が良い	0.04	0.18	0.23	0.81	
	Q16 (6)公共事業による雇用確保は必要だ	0.34	0.20	1.64	0.09	
	Q16 (8)長期的には消費税率が10%よりも高くなるのはやむをえない	0.02	0.14	0.17	0.85	
	Q16 (11)治安を守るためにプライバシーや個人の権利が制約されるのは当然だ	0.11	0.17	0.68	0.49	
	Q16 (13)外国人労働者の受け入れを進めるべきだ	0.09	0.19	0.49	0.62	
	Q16 (14) 道德教育をもっと充実させるべきだ	0.78	0.21	-3.70	0.0002 ***	
	Q16 (15)原子力規制委員会の審査に合格した原子力発電所は運転を再開すべきだ	0.23	0.16	1.40	0.15	
	F2選挙時点での年齢	0.04	0.11	0.40	0.68	
	※有意水準について					
	***:0.1%水準 **:1%水準 *:5%水準 .:10%水準					
	※有効数字は小数第四位を四捨五入して小数第三位までを示す					

# 考察

- 政党選択と憲法改正では共産党以外のダミーで負の相関が見られた→憲法を改正するべきだと思う国民は共産党以外の野党には投票しない傾向
- 道徳教育とは...判断力・実践意欲→教育現場改善を求めた国民の声は与党に任せている
- 民主党の原発再稼働についての意見→国の責任ある避難計画がなければ、原発を再稼働すべきではない→国民の投票行動
- 自国の防衛力やプライバシー権利の制約、外国人労働者受け入れと政党選択には相関がない

# 分析結果 ～投票率と政策評価との関係～

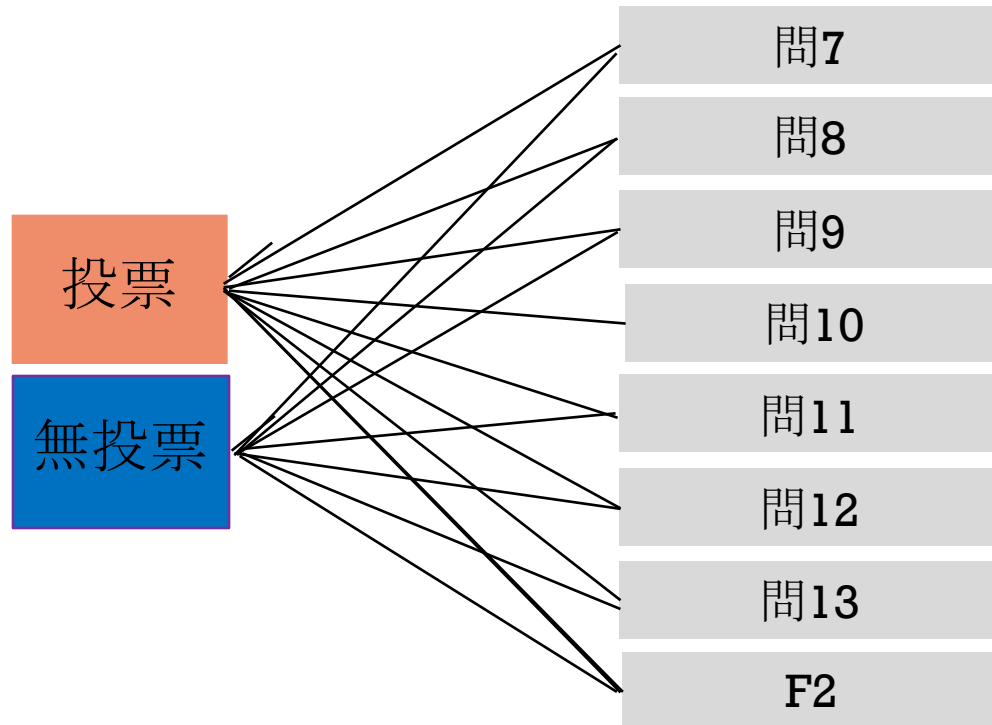
- 二項ロジット分析
- 被説明変数 → 投票者

# 説明変数について(投票率の分析 (政策評価との関係))

- Q7国の政治を信頼してるか (1.まったく信頼していない～4.いつも信頼している)
- Q8安倍首相は仕事してるか (1.よくやっているとは思わない～5.よくやっていると思う～)
- Q9特定秘密保護法を評価してるか (1.まったく評価しない～5.大いに評価する)
- Q10集団的自衛権の行使を認める閣議決定を評価するか (1.まったく評価しない～5.大いに評価する)
- Q11日本の景気はどう思うか (1.かなり悪い～5.かなり良い)
- Q12暮らしはどうか (1.かなり悪い～5.かなり良い)
- Q13消費税増税に賛成か (1.反対～5.賛成)
- **F2** あなたは、**2014年12月14日**現在では何十歳代か (1. 20歳代～6. 70歳以上)



# パス図(投票率の分析(政策評価との関係))



# 分析結果(投票率の分析(政策評価との関係))

項目	係数	標準偏差	z値	p値
(Intercept)	1.35	0.29	4.63	3.65e-06 ***
Q7国の政治を信頼してるか	-0.17	0.08	-2.10	0.03 *
Q8安倍首相は仕事してるか	-0.07	0.06	-1.07	0.28
Q9特定秘密保護法を評価してるか	0.07	0.07	1.06	0.28
Q10集団的自衛権の行使を認める閣議決定を評価するか	0.17	0.06	2.85	0.004 **
Q11日本の景気はどう思うか	-0.13	0.07	-1.91	0.05 .
Q12暮らしはどうか	-0.16	0.08	-2.08	0.03 *
Q13消費税増税に賛成か	-0.18	0.05	-3.45	0.0005 ***
F2選挙時点での年齢	-0.25	0.03	-7.45	9.12e-14 ***

※有意水準について  
 \*\*\*:0.1%水準 \*\* :1%水準\* :5%水準.:10%水準  
 ※有効数字は小数第四位を四捨五入して小数第三位まで示す。

# 考察

## ～投票率と政党選択との関係～

- 現在の政治に対する信頼や日本の景気、増税が行われることと投票行動を起こすことは負の相関が見られた
- 集団的自衛権を巡った閣議決定と投票行動には正の相関が見られた→外交を有利に進め、他国との友好関係強化賛成
- 首相の仕事ぶりや特定秘密保護法評価との相関が出なかった→国民の認知度が低いおそれ

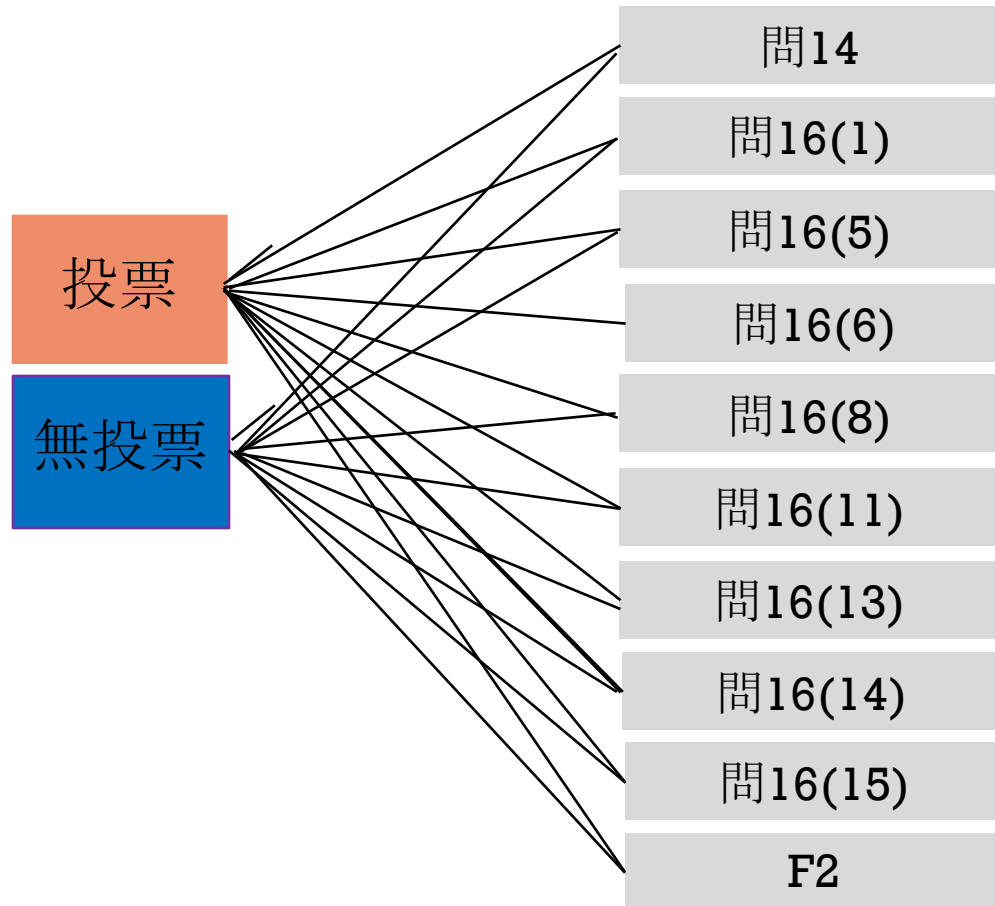
# 分析結果 ～投票率と憲法改正との関係～

- 二項ロジット分析

# 説明変数について(投票率の分析 (憲法改正との関係))

- Q14憲法を改正すべきだ
  - Q16 (1)日本の防衛力はもっと強化すべきだ
  - Q16 (5)社会福祉など政府のサービスが悪くなっても、お金のかからない小さな政府の方が良い
  - Q16 (6)公共事業による雇用確保は必要だ
  - Q16 (8)長期的には消費税率が10%よりも高くなるのはやむをえない
  - Q16 (11)治安を守るためにプライバシーや個人の権利が制約されるのは当然だ
  - Q16 (13)外国人労働者の受け入れを進めるべきだ
  - Q16 (14)道徳教育をもっと充実させるべきだ
  - Q16 (15)原子力規制委員会の審査に合格した原子力発電所は運転を再開すべきだ
- ※上の質問はいずれも5段階のリッカート尺度で測定されている (1. 反対～5. 賛成)
- **F2** あなたは、**2014年12月14日**現在では何十歳代か (1. 20歳代～6. 70歳以上)

# パス図(投票率の分析(憲法改正との関係))



# 分析結果(投票率の分析(憲法改正との関係))

項目	係数	標準偏差	z値	p値
(Intercept)	0.009	0.40	0.02	0.98
Q14憲法を改正すべきだ	-0.17	0.05	-3.33	0.0008 ***
Q16 (1)日本の防衛力はもっと強化すべきだ	0.16	0.05	2.86	0.004 **
Q16 (5)社会福祉など政府のサービスが悪くなっても、お金のかからない小さな政府の方が良い	0.01	0.05	0.32	0.74
Q16 (6)公共事業による雇用確保は必要だ	0.004	0.05	0.07	0.93
Q16 (8)長期的には消費税率が10%よりも高くなるのはやむをえない	0.16	0.04	3.73	0.0001 ***
Q16 (11)治安を守るためにプライバシーや個人の権利が制約されるのは当然だ	-0.12	0.05	-2.42	0.01 *
Q16 (13)外国人労働者の受け入れを進めるべきだ	-0.07	0.05	-1.33	0.18
Q16 (14)道徳教育をもっと充実させるべきだ	0.06	0.06	0.93	0.34
Q16 (15)原子力規制委員会の審査に合格した原子力発電所は運転を再開すべきだ	-0.04	0.04	-0.93	0.35
F2選挙時点での年齢	0.25	0.03	7.58	3.37e-14 ***

※有意水準について

# 考察

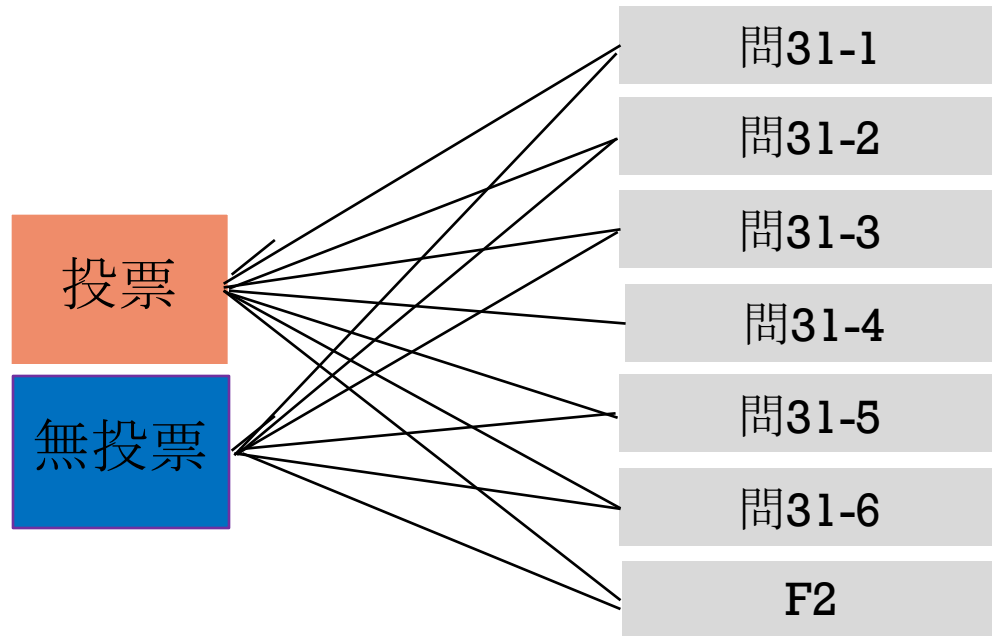
- 消費税**10%**に増税されるなど、身近で影響が起こるような問題には投票行動に活発的であり、関心がある
- 防衛力強化に賛成の声を挙げる国民は投票する
- 近年の世論調査でも国民は改憲について意見は集まらず生活や経済に直結する課題を重視する傾向
- 全体的に相関の強い変数が少ない→年齢ダミーに正の相関→若者の政治離れ傾向



# 説明変数について(投票率の分析 (政策評価との関係))

- 問31-1 外交姿勢(1、米国優先～5、アジア優先)
- 問31-2 格差是正か競争重視か(1、経済競争力向上を重視～5、格差是正重視)
- 問31-3 貿易(1、国内産業の保護優先～5、貿易自由化)
- 問31-4 環境保護(1、環境保護を最優先～5、あまり重視しない)
- 問31-5 理想とする家族形態(1、夫婦と複数の子供～5、シングルマザーなど多様に)
- 問31-6 原発問題(1、卒原発～5、続原発)
- **F2** あなたは、2014年12月14日現在では何十歳代か(1. 20歳代～6. 70歳以上)

# パス図(投票率の分析(政策評価との関係))



# 分析結果(投票率の分析(政策評価との関係))

項目	係数	標準偏差	z値	p値
(Intercept)	-0.002	0.34	-0.008	0.99
問31-1 外交姿勢	0.04	0.05	0.93	0.35
問31-2 格差是正か競争重視か	-0.05	0.05	-0.99	0.31
問31-3 貿易	0.03	0.05	0.63	0.52
問31-4 環境保護	0.02	0.05	0.43	0.66
問31-5 理想とする家族形態	-0.03	0.04	-0.78	0.43
問31-6 原発問題	-0.01	0.04	-0.22	0.81
F2選挙時点での年齢	0.26	0.03	8.03	9.7e-16 ***

※有意水準について  
 \*\*\*:0.1%水準 \*\* :1%水準\* :5%水準 .:10%水準  
 ※有効数字は小数第四位を四捨五入して小数第三位まで示す。

# 13期生の分析結果(投票率の分析 (政策評価との関係))

項目	係数	標準偏差	z値	p値
(Intercept)	-0.16	0.47	-0.34	0.73
問17-1 外交姿勢	0.03	0.05	0.67	0.50
問17-2 格差是正か競争重視か	-0.02	0.06	-0.37	0.70
問17-3 貿易	0.14	0.05	2.51	0.01
問17-4 環境保護	0.07	0.06	-0.114	0.90
問17-5 理想とする家族形態	-0.07	0.04	-1.65	0.09
問17-6 原発問題	-0.08	0.05	-1.61	0.10
F2選挙時点での年齢	0.20	0.03	5.39	6.87e-08 ***

※有意水準について  
 \*\*\*:0.1%水準 \*\* :1%水準\* :5%水準 .:10%水準  
 ※有効数字は小数第四位を四捨五入して小数第三位まで示す。

# 考察

- 年齢の高い人ほど政治への関心度が高いと考えられ、また長年の支持政党があるとも考えられる
- 全体的に相関が見られなかった→現状満足の傾向にある
- **2012年衆院選世論調査**の分析と比較すると、貿易や理想とする家族形態に対して今回では相関が発生しなかった

# まとめ

1. 与党に比べ、野党では政策評価や憲法改正などで全体的に負の相関が見られ、与党に対する国民からの評価は高い傾向→自民党の大勝に繋がった
2. 外交関係における投票者からの意見は多く、外交姿勢を強調していくことは重要視されてきている
3. 若者による政治離れの影響は投票行動に大きく関係していた
4. 予想と違って相関のなかった変数も多く見られ、政治に無関心な投票者も多く存在していた
5. 現状の暮らしにある程度満足していて、生活に直結するような政策に注目が集まるような傾向が見られたように感じた

# 今後の課題

1. 多項ロジットと二項ロジットという分析方法を今回初めて学習することができた。
2. 今回は政党選択の分析と投票率の分析を別々に行ったが、実際の選挙において有権者はまず投票するかしないかを選択し、その後投票先を決めるということが考えられる。よってこのような現状から再び分析をやり直すことが出来れば、より有意な結果が得られる可能性がある。
3. 質問の一部が投票者のみへの設問だったため、投票者と無投票者を合わせた分析が出来ない箇所があった。
4. **13**期生と同じく今回の分析では比例区に絞ったため、小選挙区と比例区の二つを考慮した分析を行うことが出来ればより有意な結果が得られる可能性が高い。

# 謝辞

- 今回利用データを提供して下さった谷口研究会と朝日新聞社に感謝申し上げます。



# 参考文献

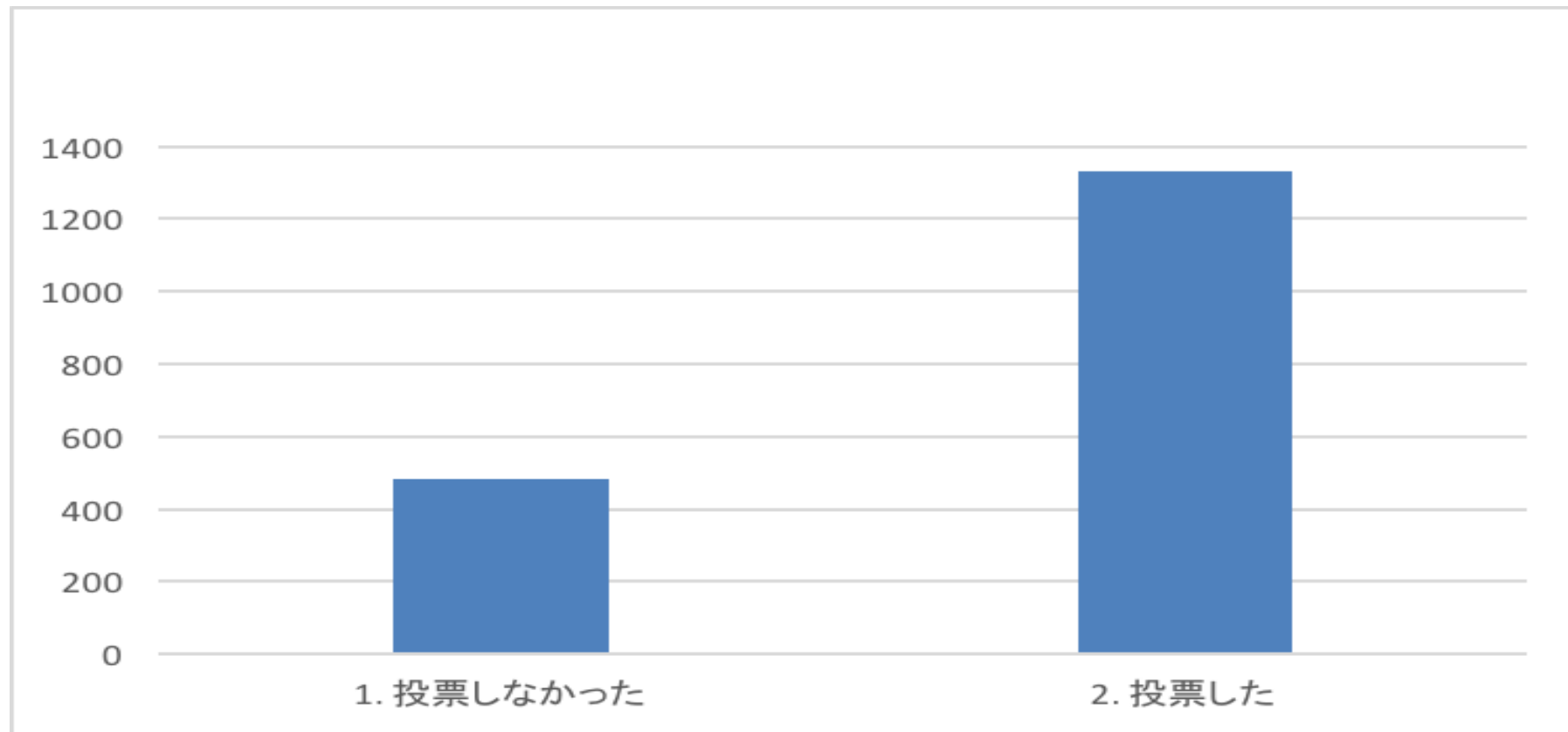
- 黒澤遼太、田中悠詩、平野貴羅「**2012年衆院選世論調査の分析**」  
[http://news.fbc.keio.ac.jp/%7Ehamaoka/GRAD\\_13/3f-kurotanahira.pd](http://news.fbc.keio.ac.jp/%7Ehamaoka/GRAD_13/3f-kurotanahira.pd) (2016/11/22アクセス)
- 衆院選2014(衆議院選挙)ニュース：読売新聞 (YOMIURI ONLINE)  
<http://www.yomiuri.co.jp/election/shugiin/2014/> (2016/11/22アクセス)
- 選挙の理論(どうして投票するのかなの巻)  
<http://kame.la.coocan.jp/classroom/sei06.pdf> (2016/11/22アクセス)
- 第47回衆院選の議席数予測を振り返る<http://docs.yahoo.co.jp/info/bigdata/election/2014/03/> (2016/11/22アクセス)
- 東京大学谷口研究室・朝日新聞社共同有権者調査  
<http://www.masaki.j.u-tokyo.ac.jp/utas/utasv.html> (2016/11/9アクセス)
- なぜ有権者は投票に行くのかー効用？ 義務感？ 学習？ー  
<http://www.yomiuri.co.jp/adv/chuo/research/20110630.html> (2016/11/29アクセス)

# 参考資料

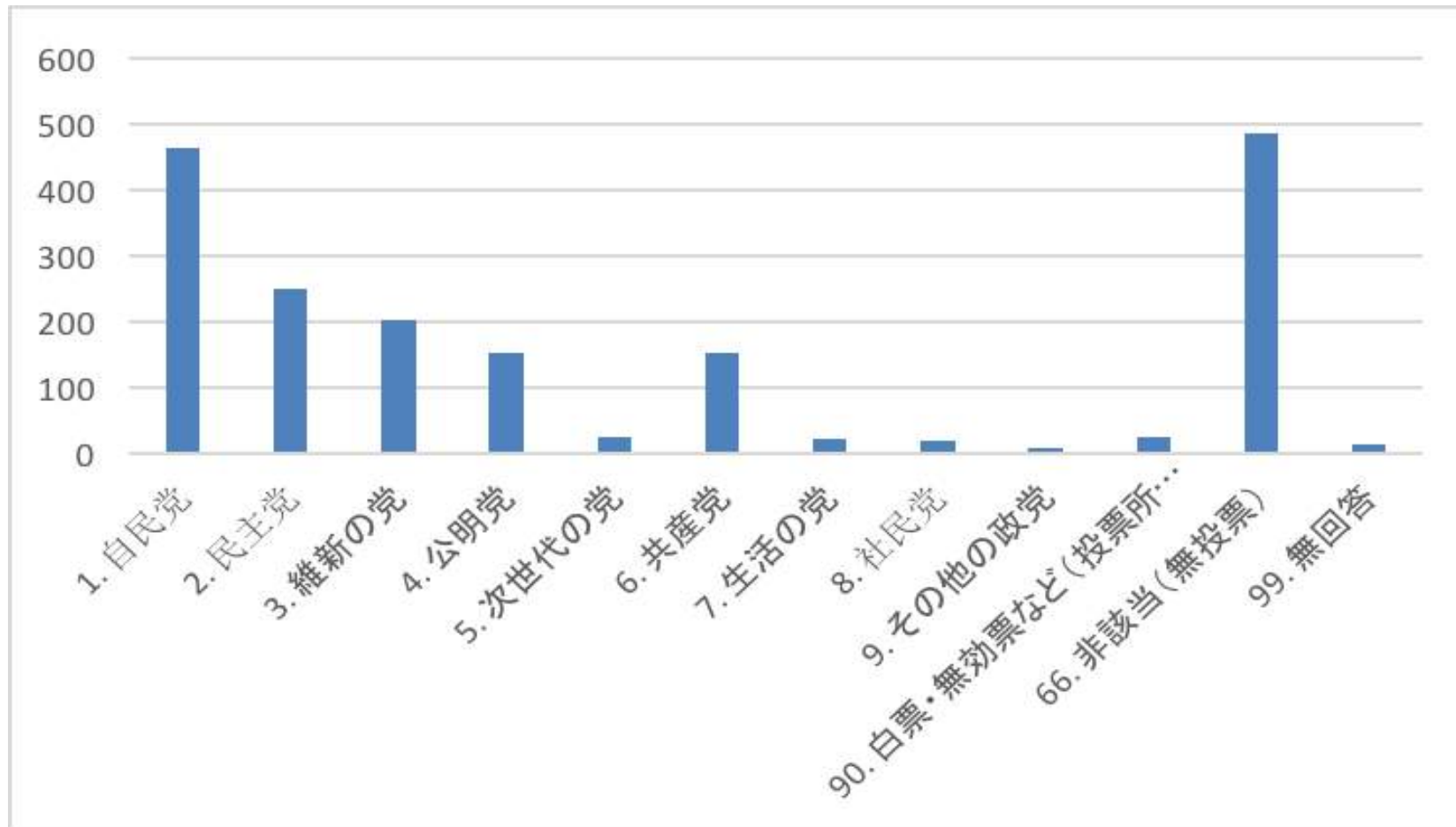
2014年東京大学谷口研究室・朝日新聞社共同世論調査

→変数の単純集計結果

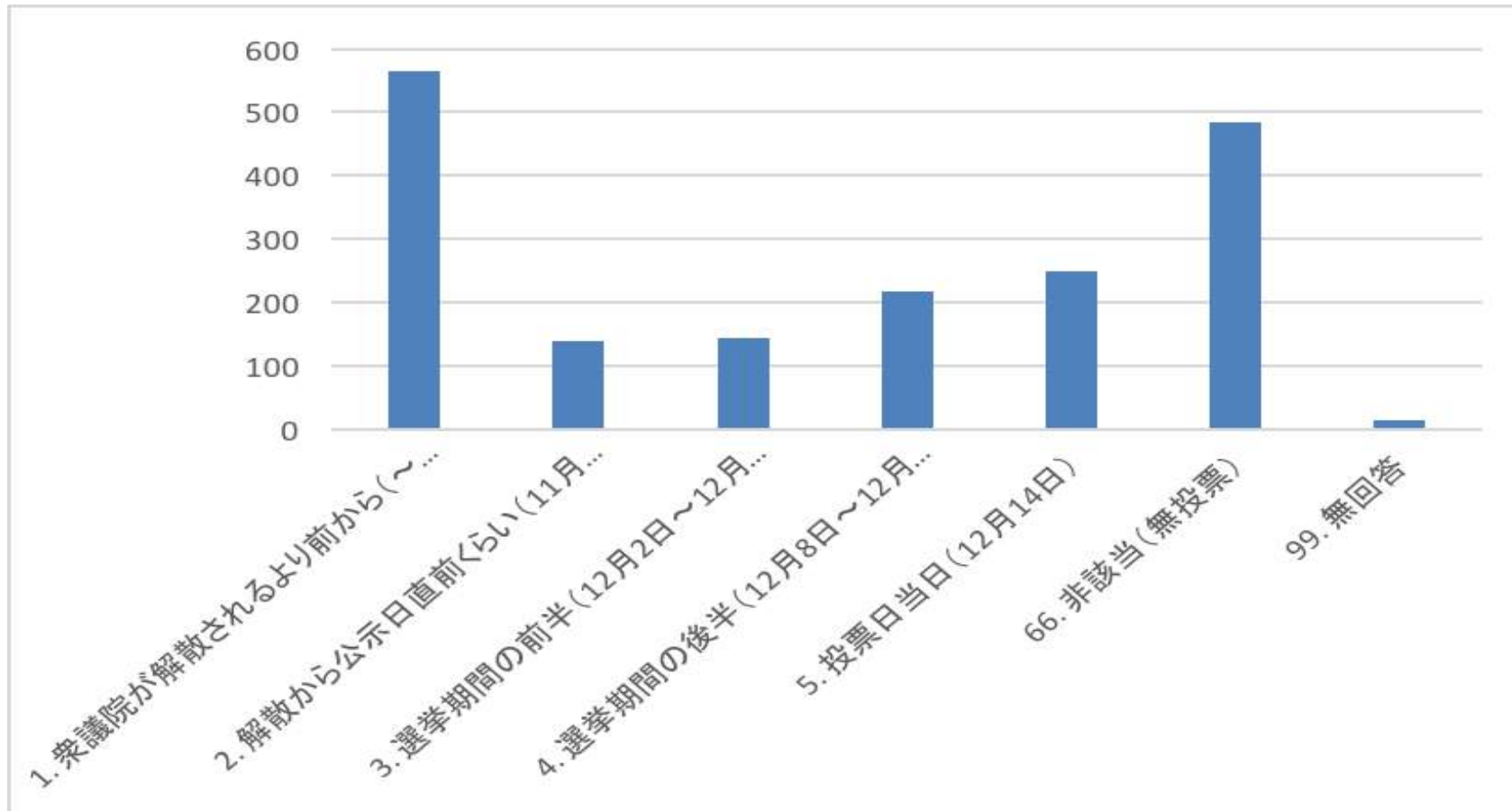
問1 あなたは、今回の衆議院選挙で投票されましたか。



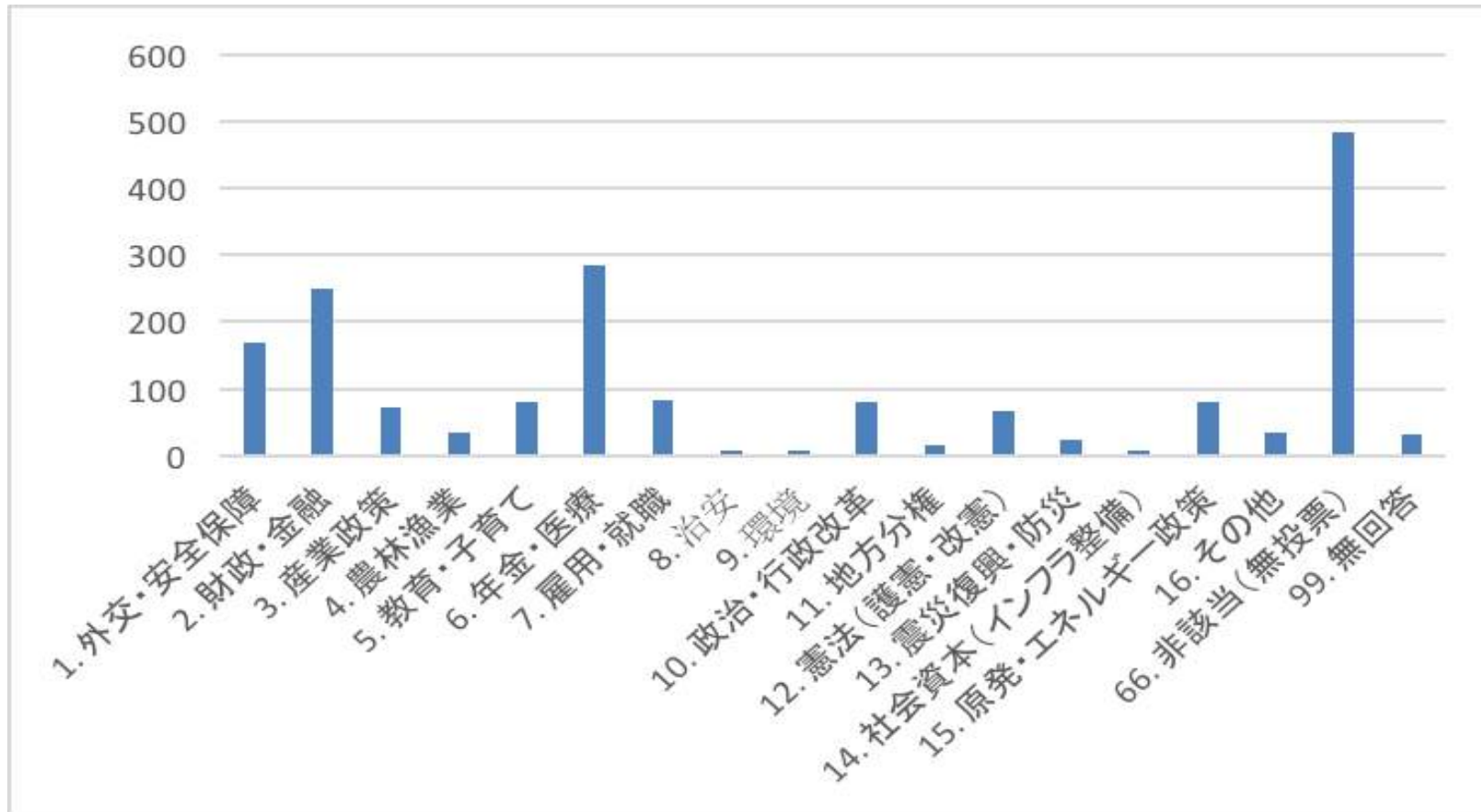
問2 比例区では、あなたはどの政党に投票しましたか。1つだけ○を付けてください。



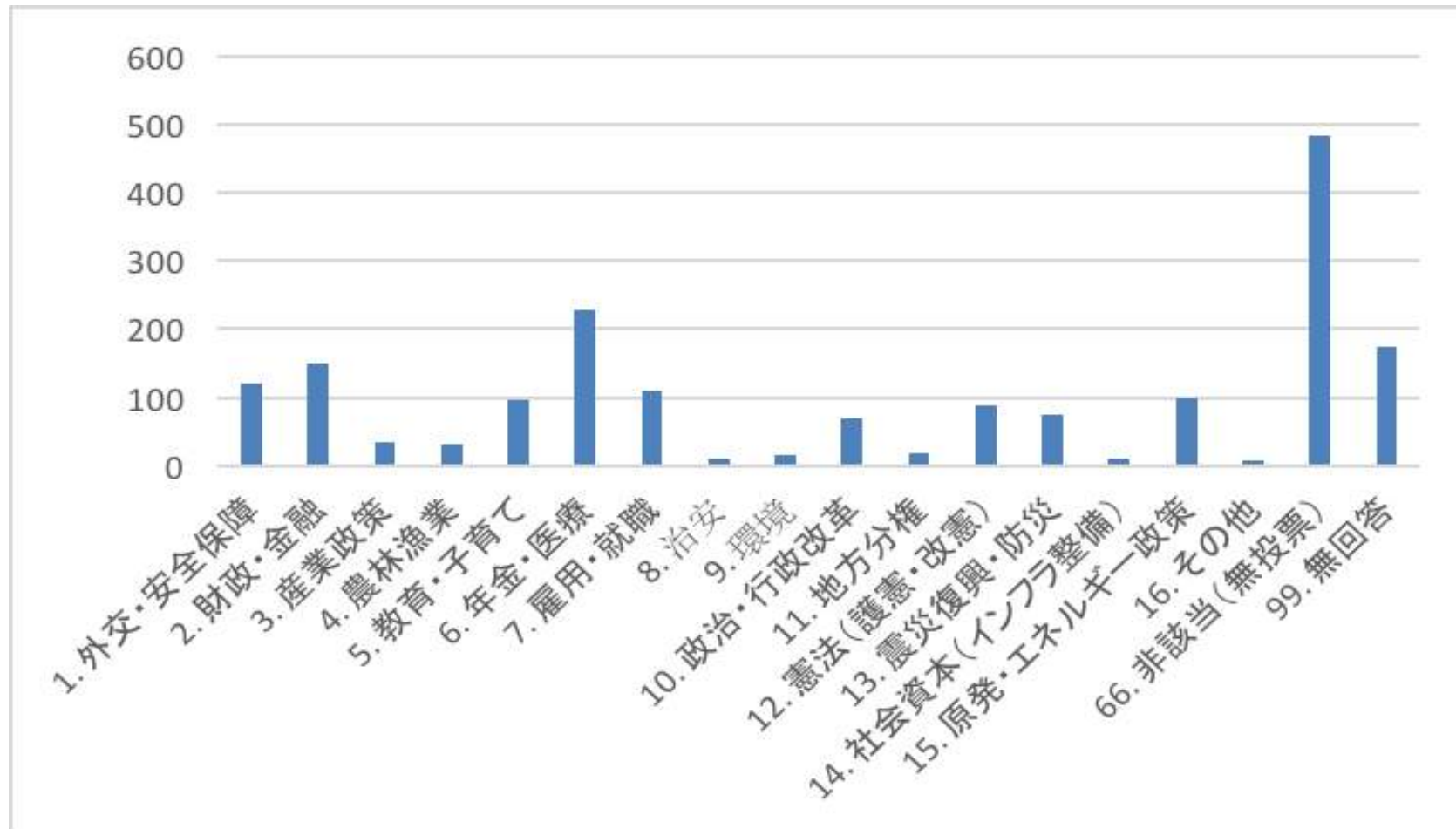
問3 あなたが比例区の選挙で、その党に投票することにしたのはいつごろですか。1つだけ○を付けてください。



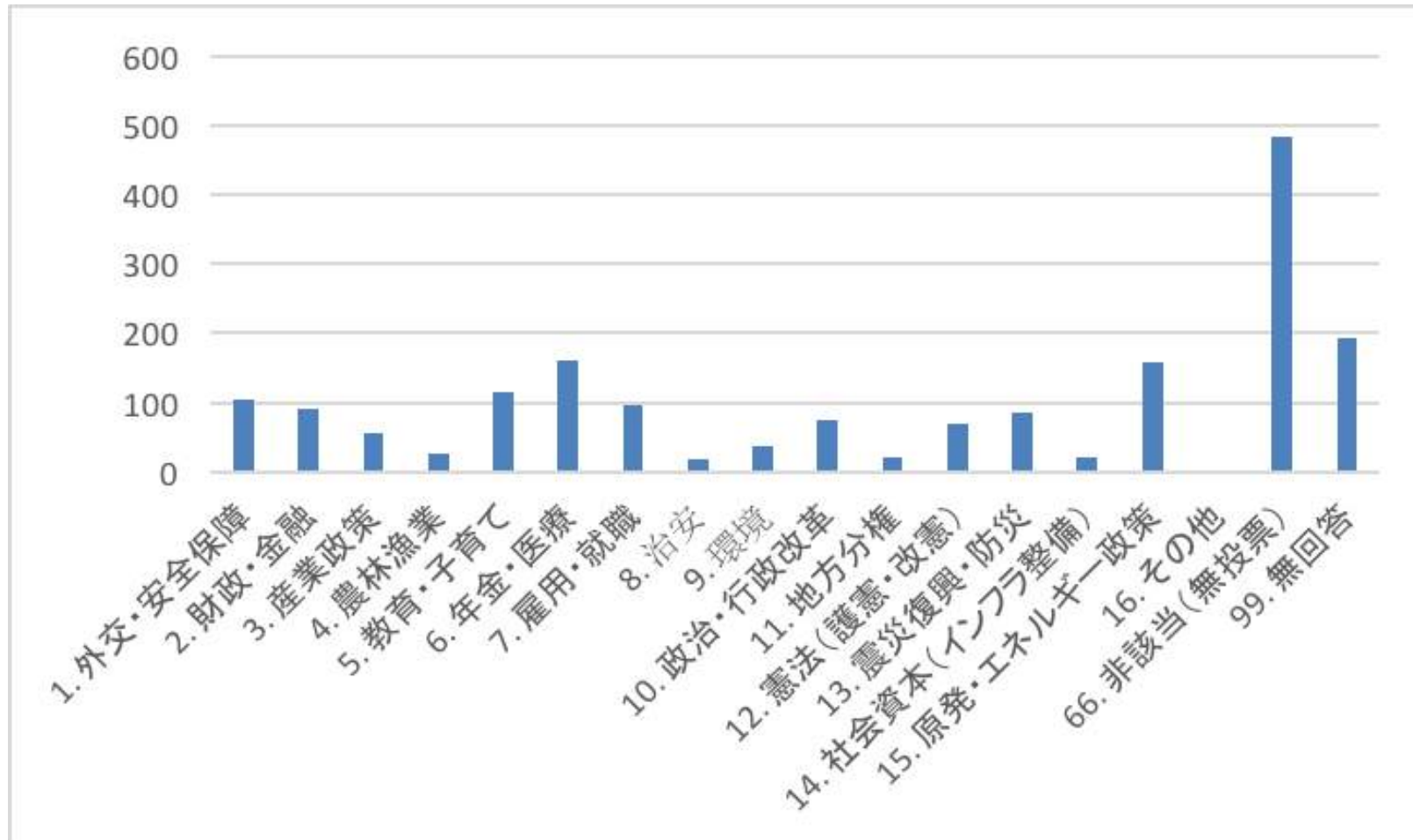
問5 このどの衆議院選挙に際して、あなたが最も重視した政策はどれでしょうか。



こんどの衆議院選挙に際して、あなたが**2番**目に重視した政策はどれでしょうか。

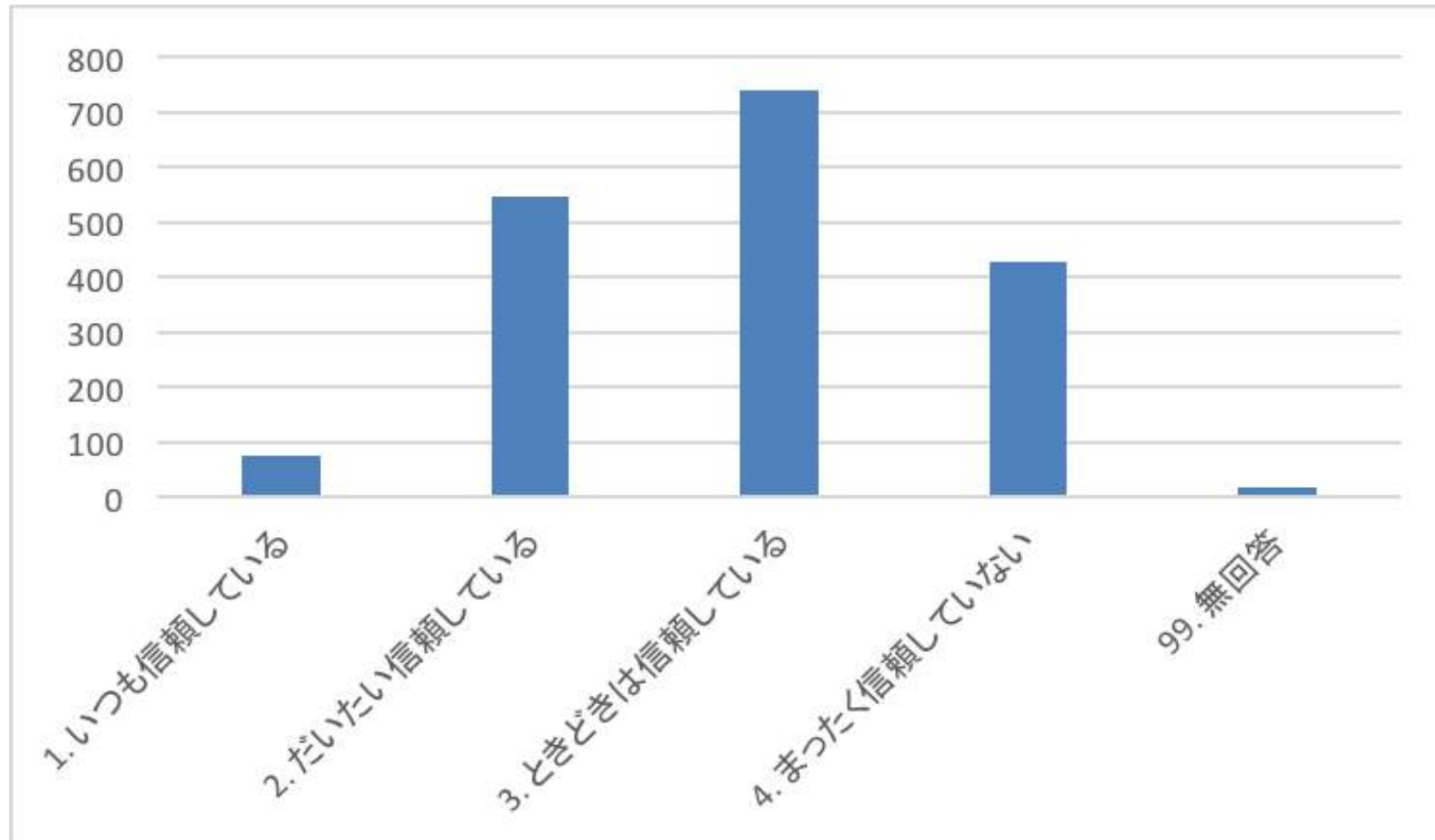


こんどの衆議院選挙に際して、あなたが**3**番目に重視した政策はどれでしょうか。

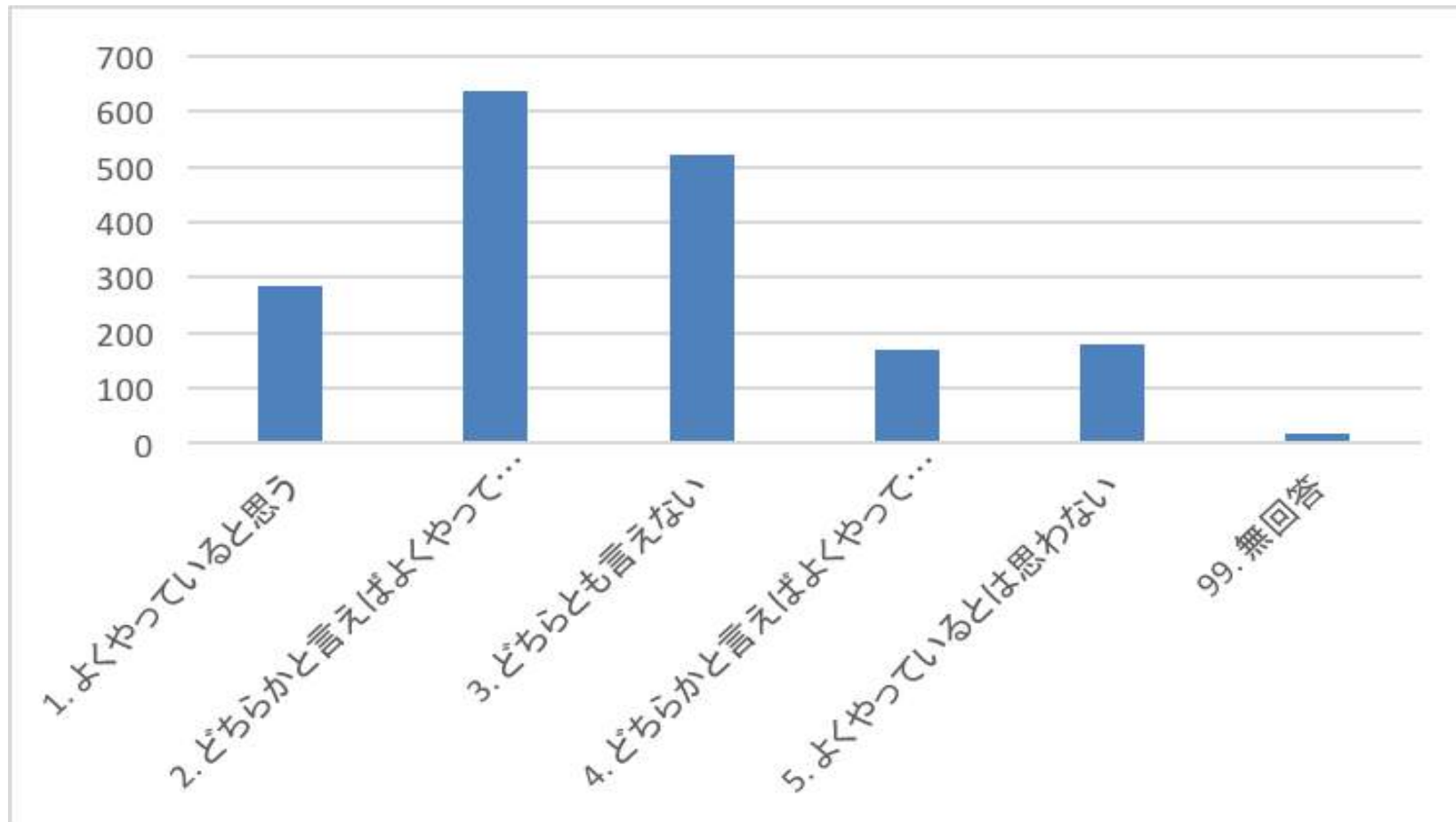




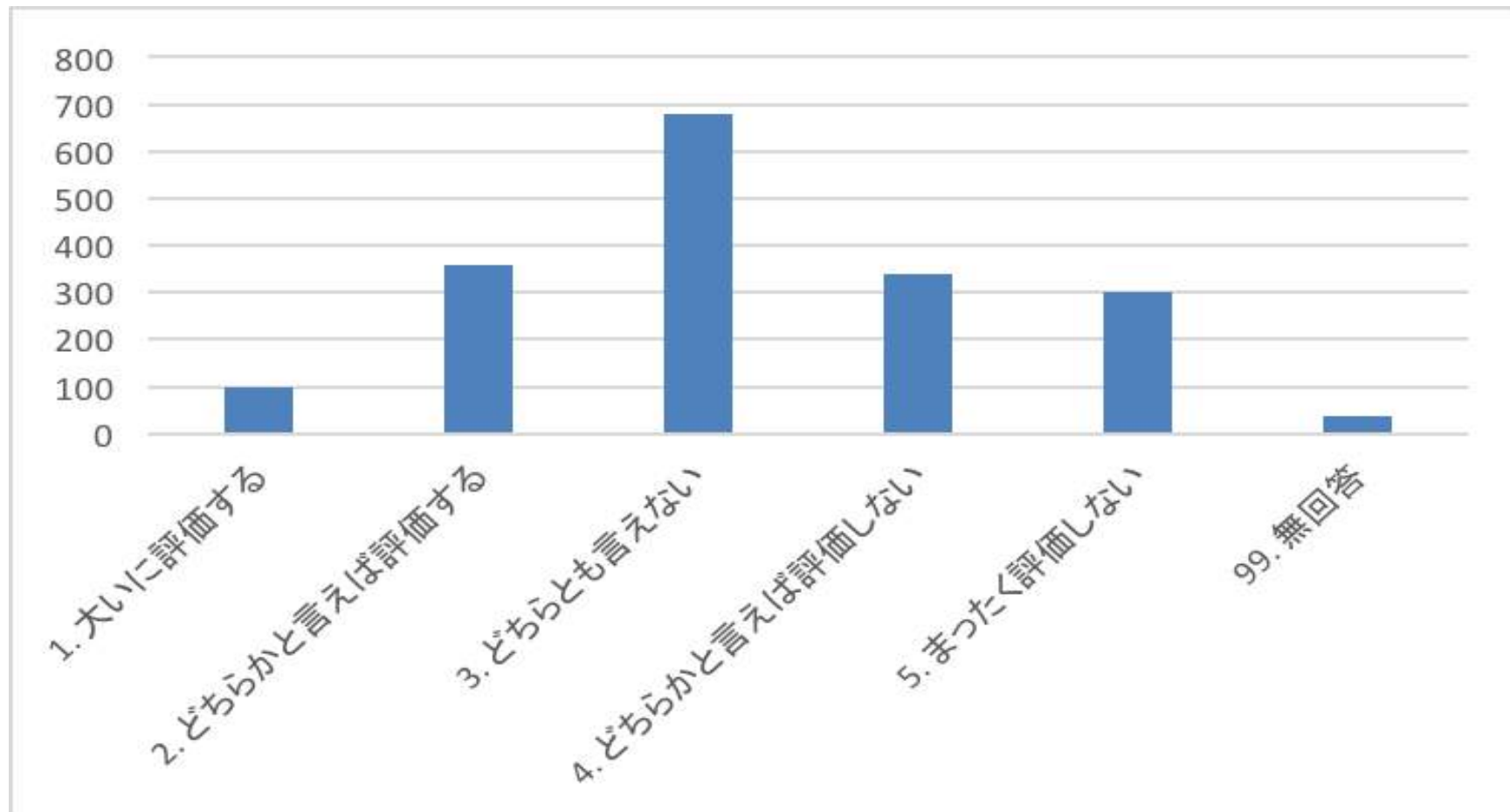
問7 あなたは、国の政治をどれくらい信頼していますか。1つだけ○を付けてください。



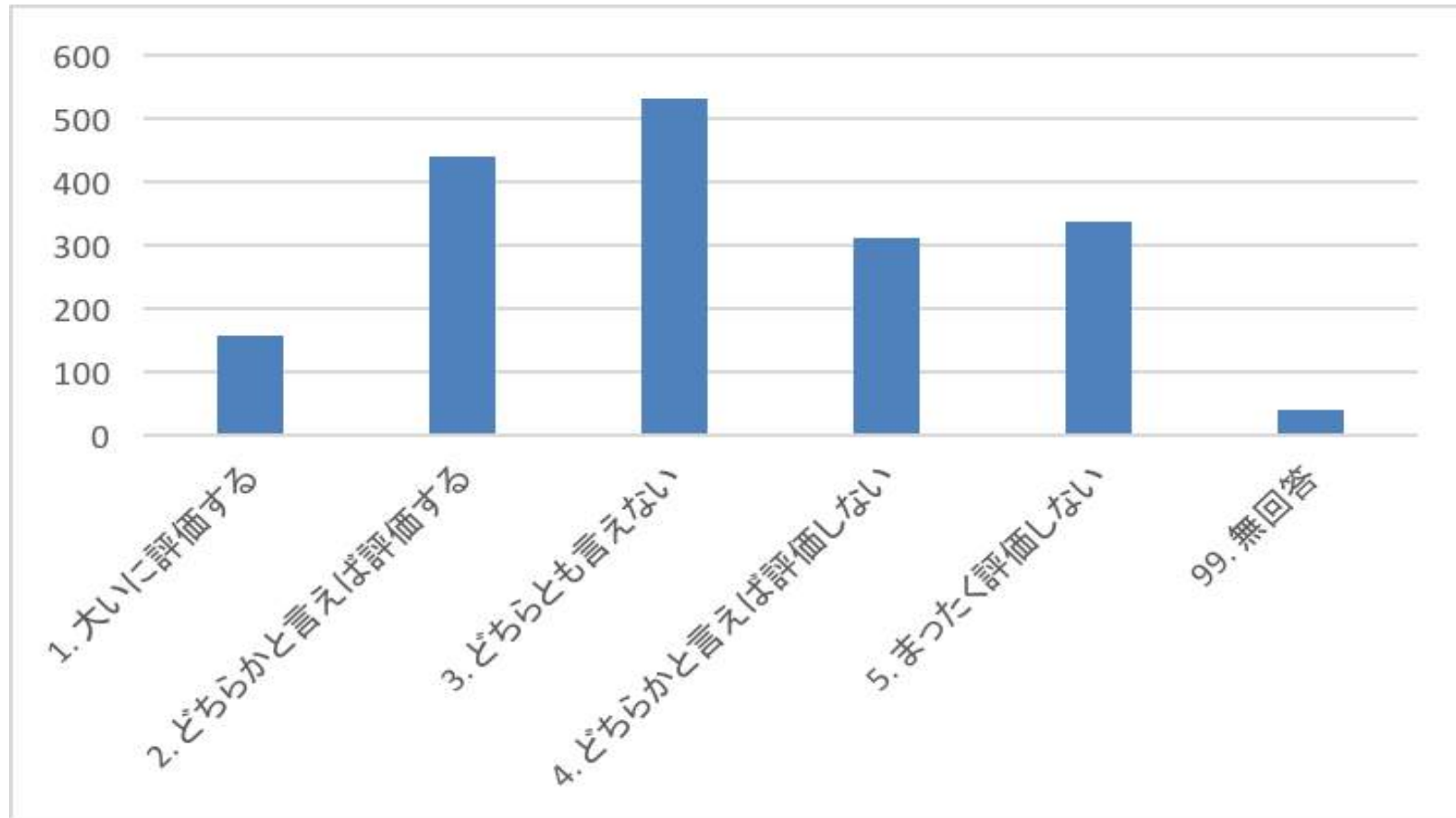
問8 あなたは、安倍首相の全般的な仕事ぶりについて、よくやっていると思いますか、それとも思いませんか。1つだけ○を付けてください。



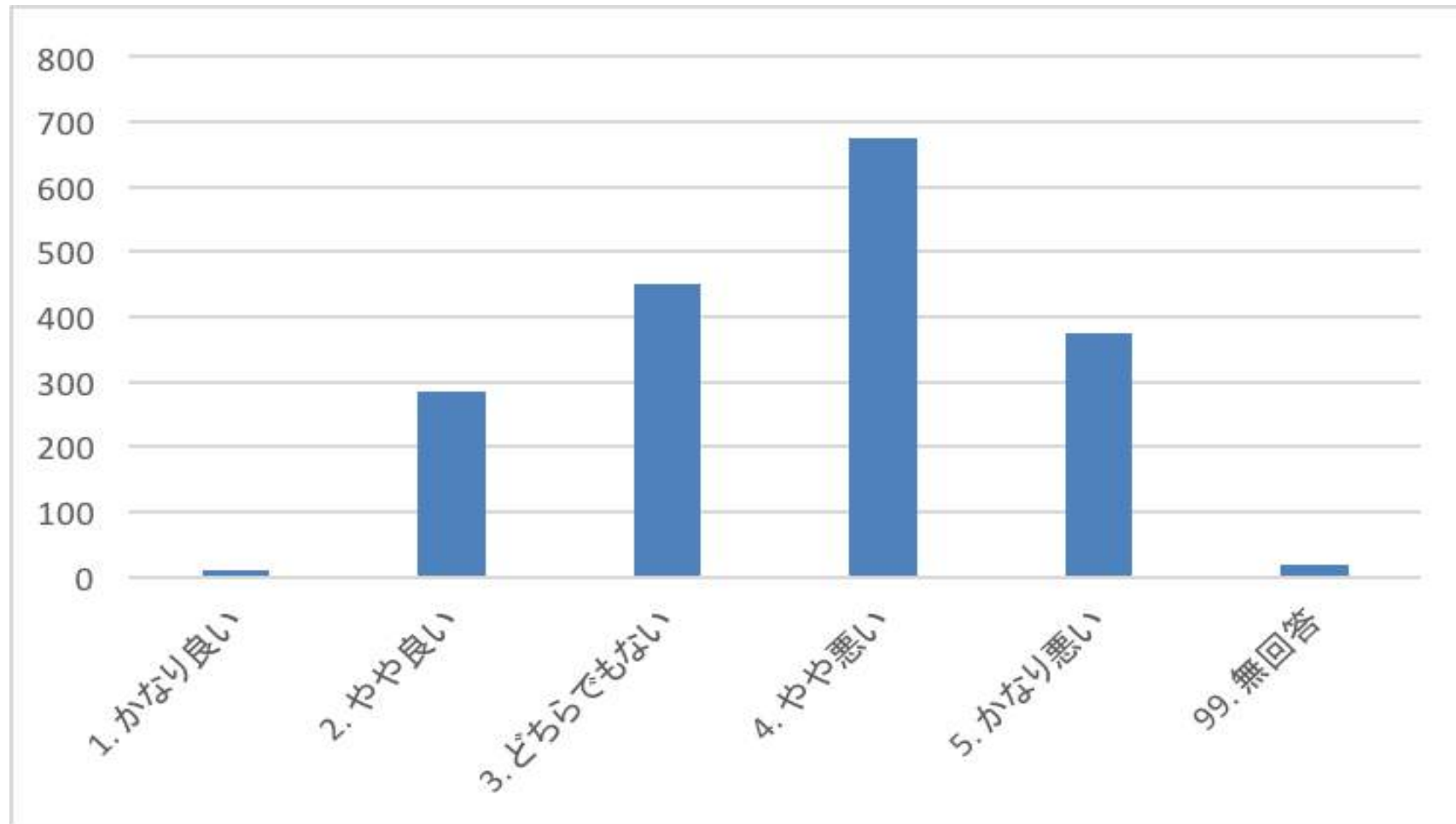
問9 あなたは、特定秘密保護法が成立したことを評価しますか、それとも評価しませんか。1つだけ○をつけてください。



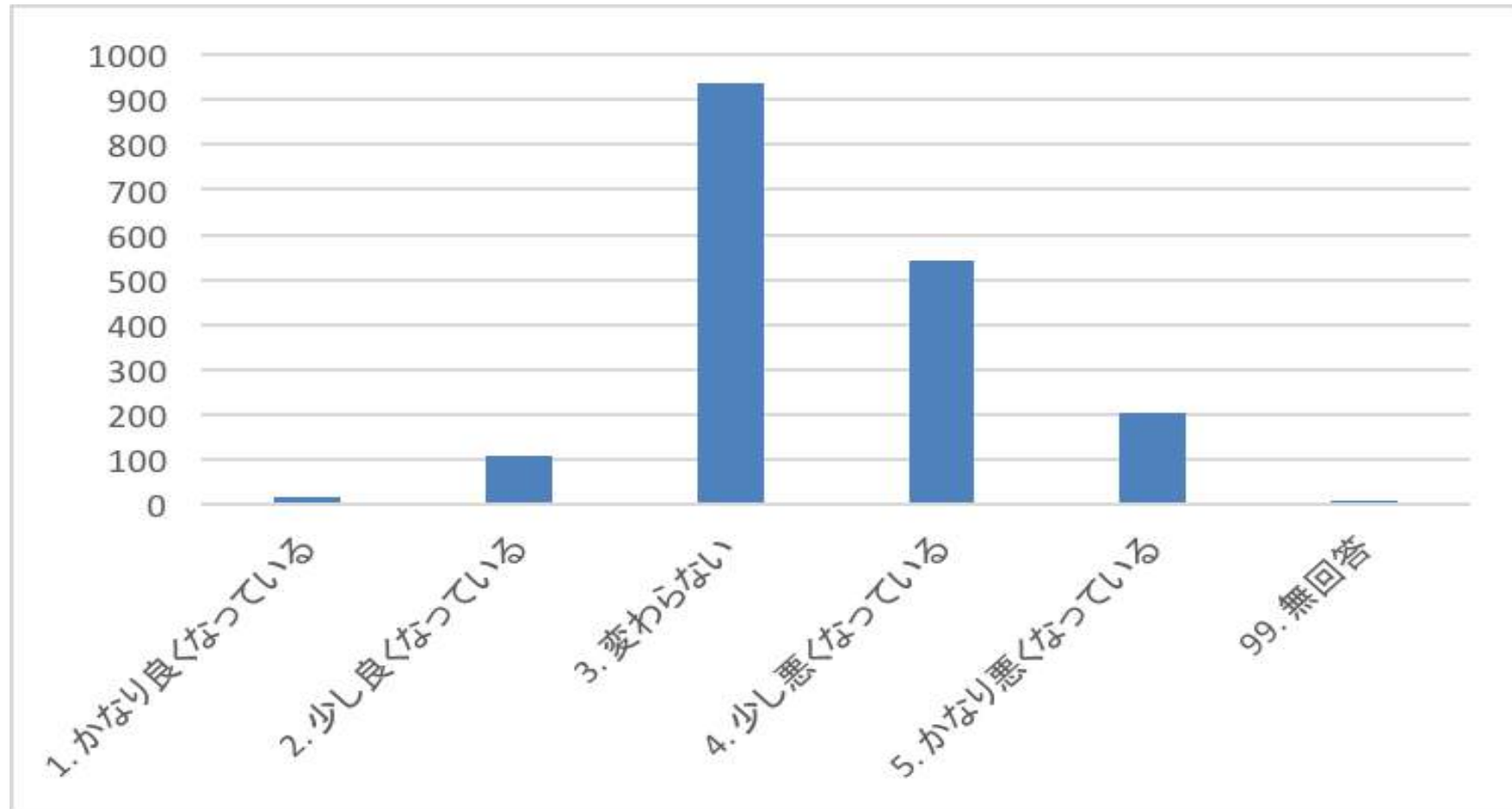
問10 あなたは、集団的自衛権の行使を認める閣議決定が行われたことを評価しますか、それとも評価しませんか。1つだけ○をつけてください。



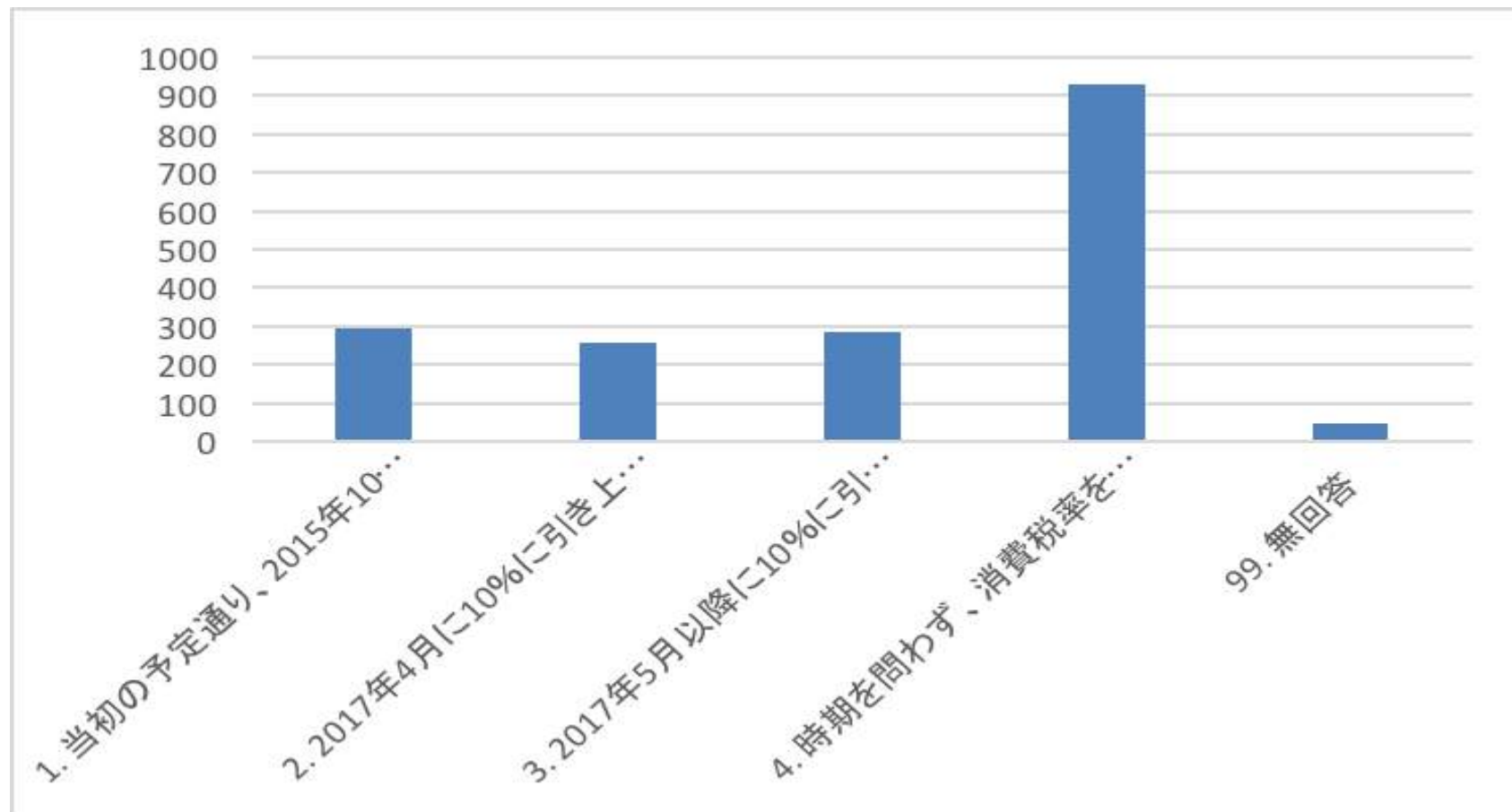
問11 今の日本の景気はどんな状態だと思いますか。1つだけ○を付けてください。



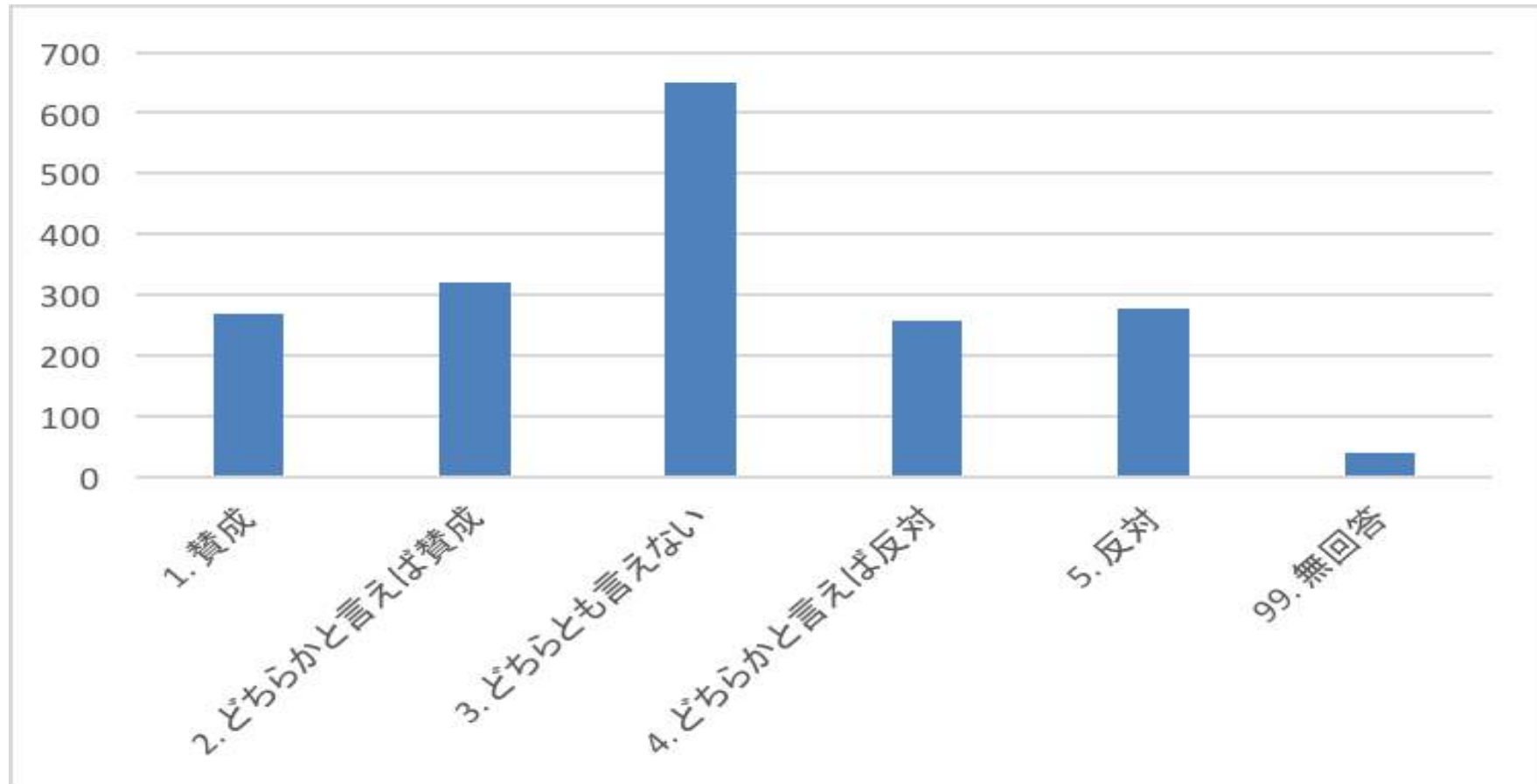
問12 現在のお宅のくらしむきを1年前と比べると、どうでしょうか。1つだけ○を付けてください。



問13 消費税率を10%に引き上げることに  
ついて、あなたのお考えに一番近いものに○  
を付けてください。

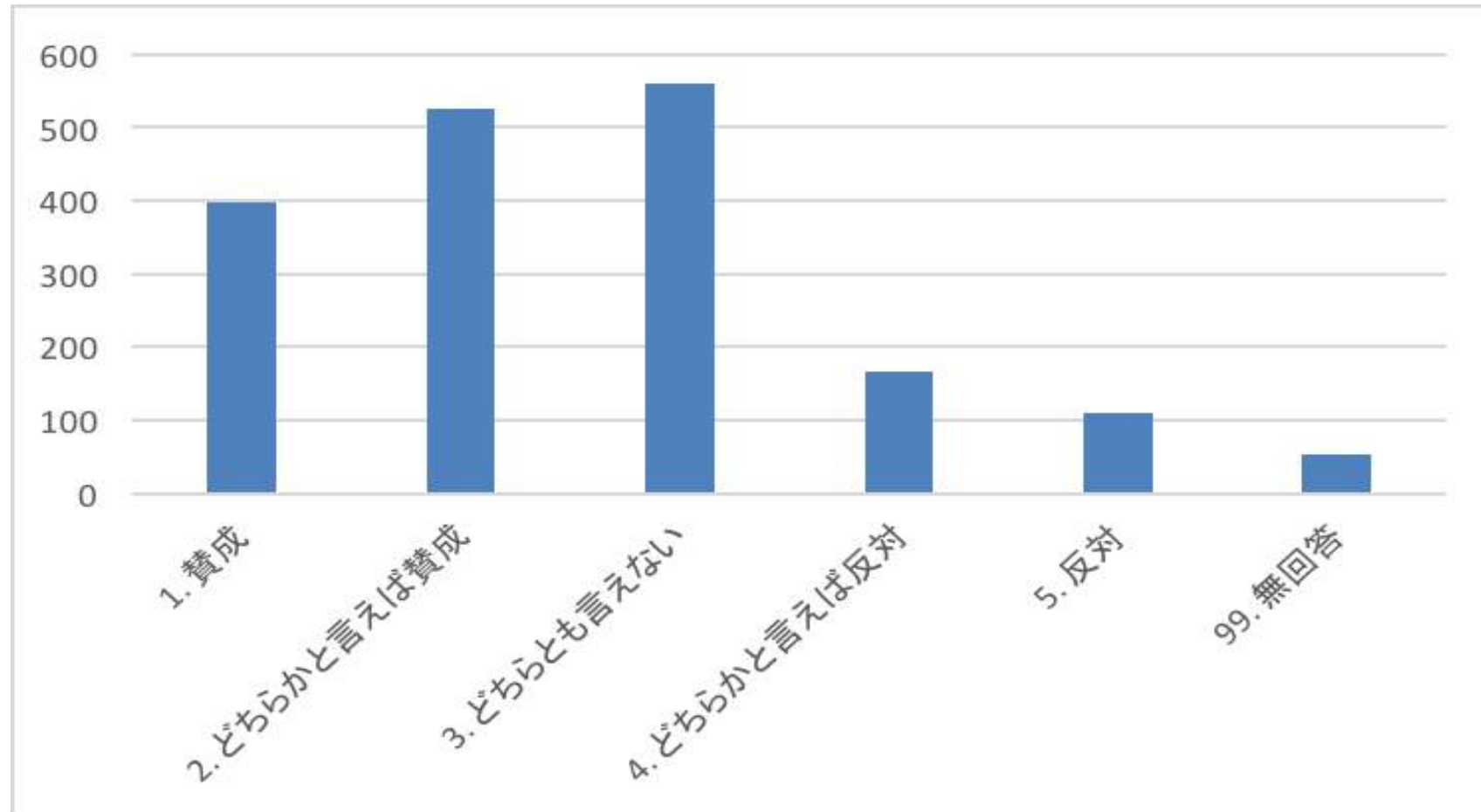


問14 「憲法を改正すべきだ」という意見について、あなたは賛成ですか、それとも反対ですか。1つだけ○を付けてください。

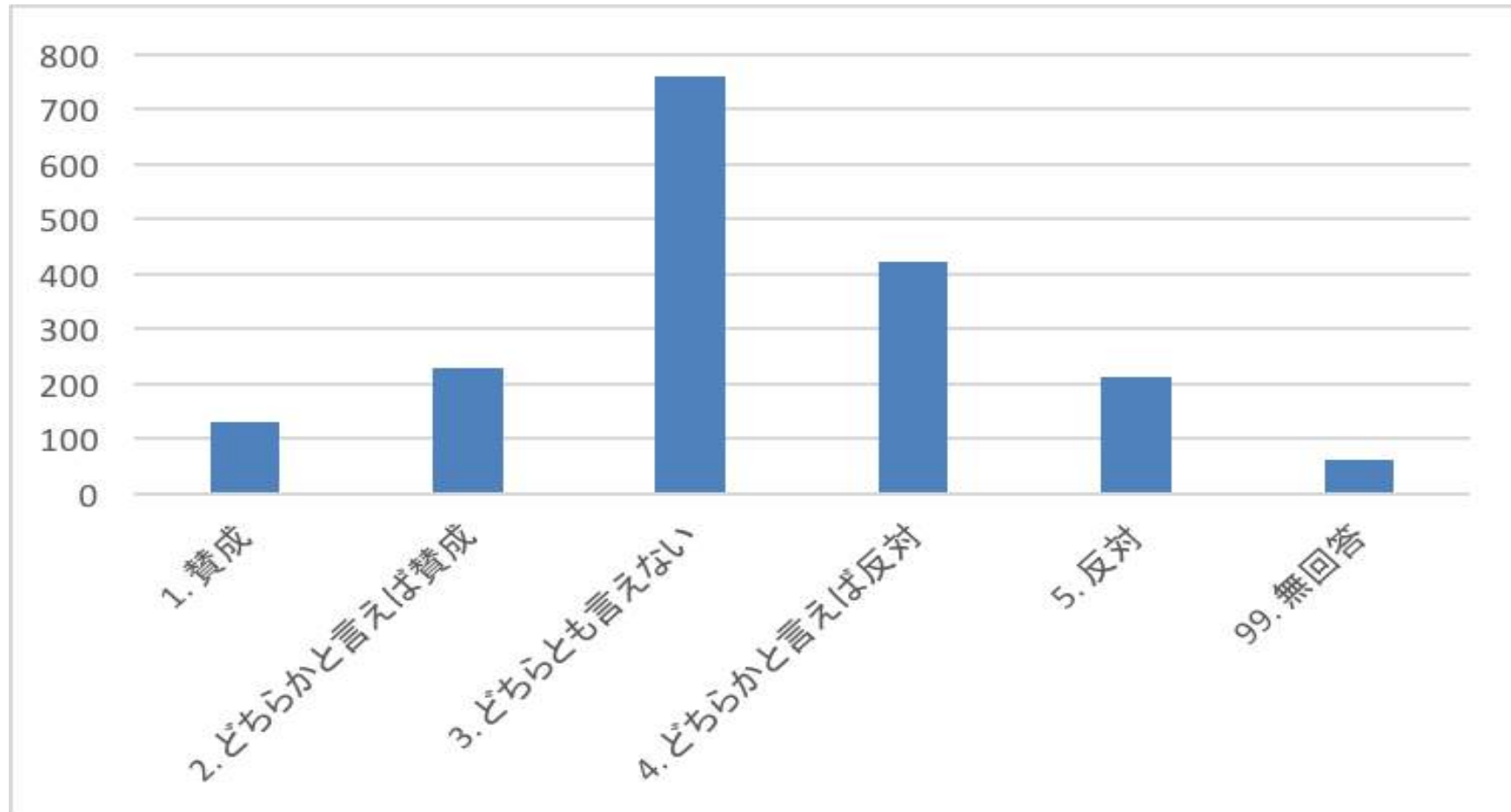




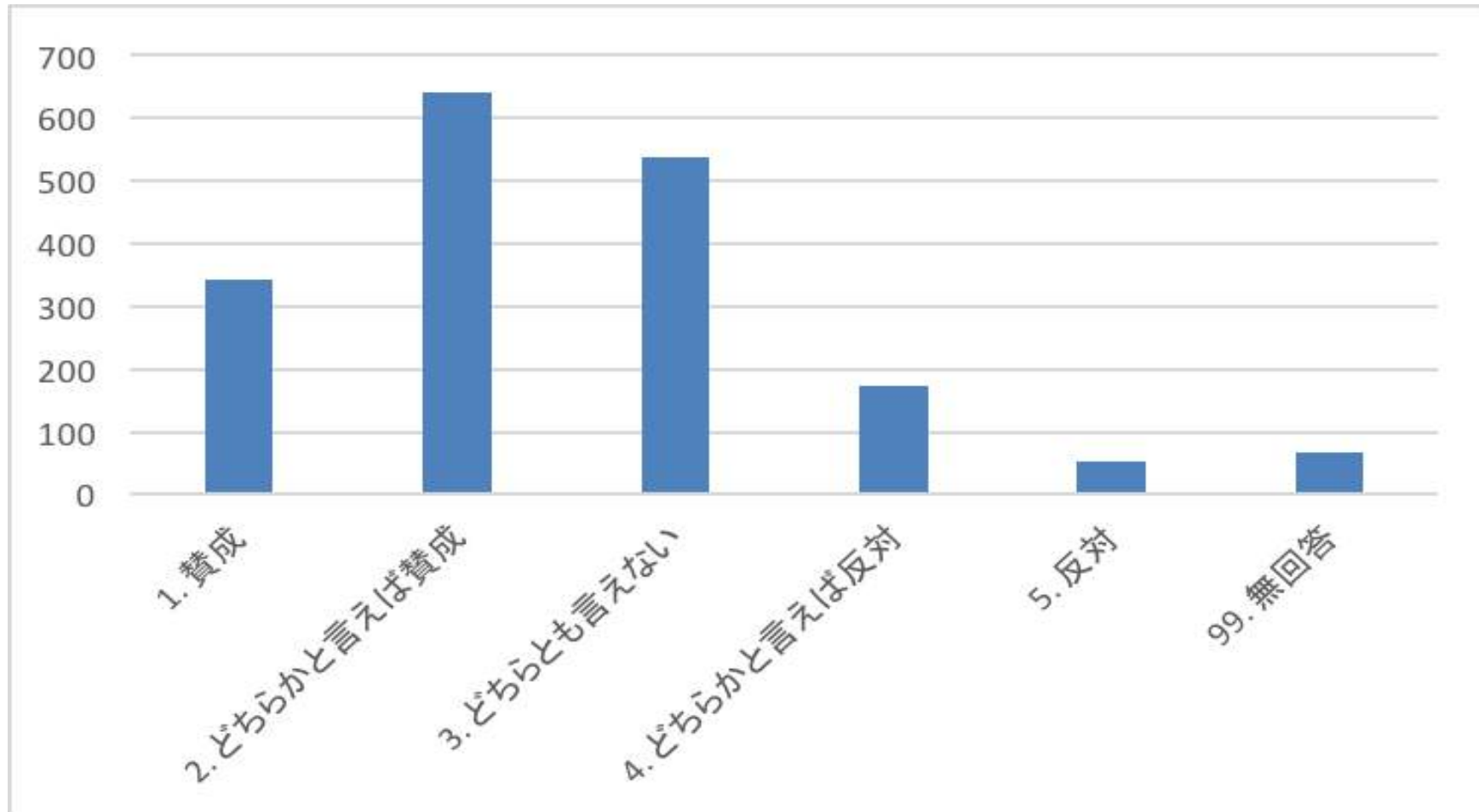
# 問16 (1) 日本の防衛力はもっと強化すべきだ



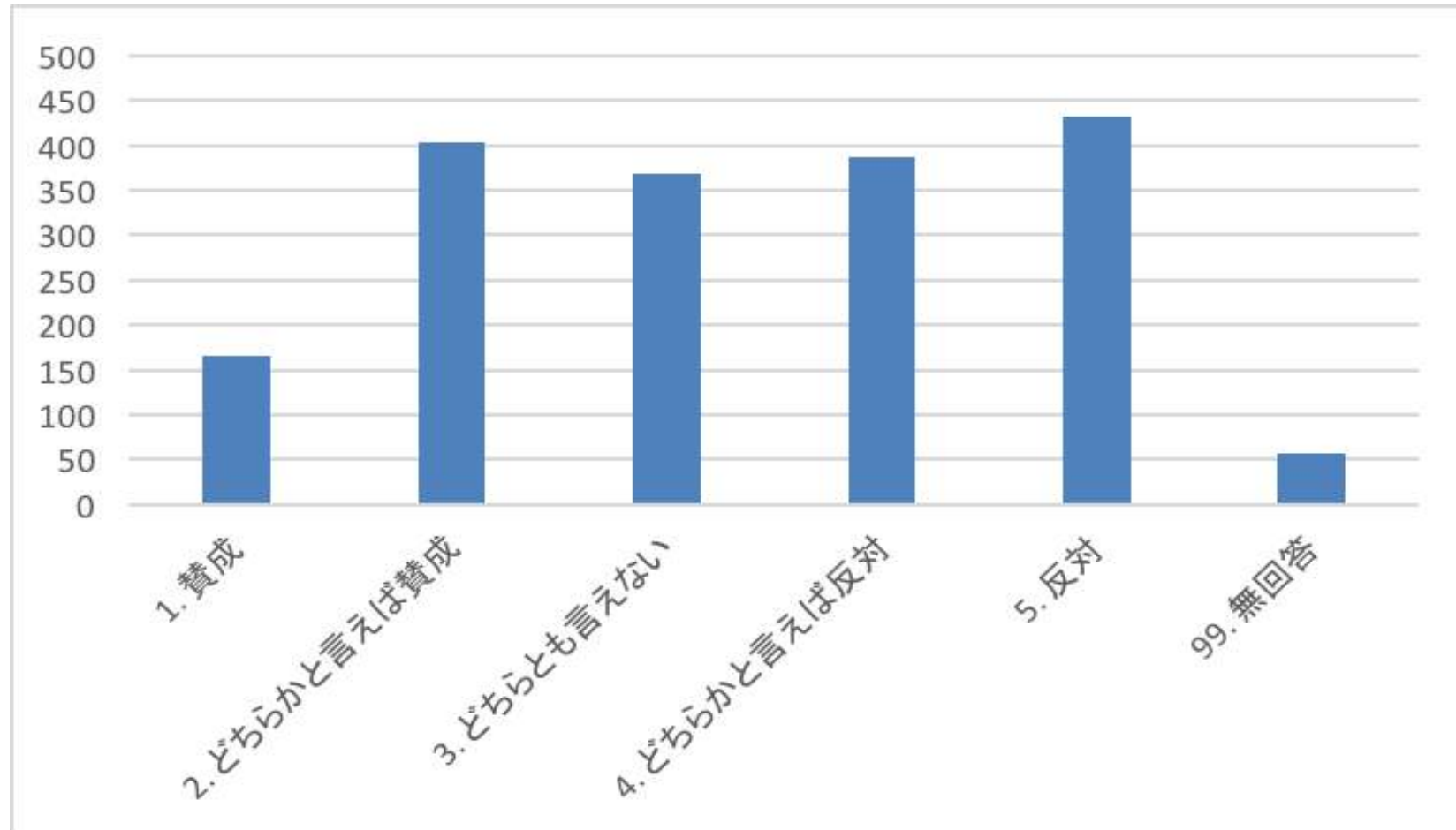
# 問16 (5) 社会福祉など政府のサービスが悪くなっても、お金のかからない小さな政府の方が良い



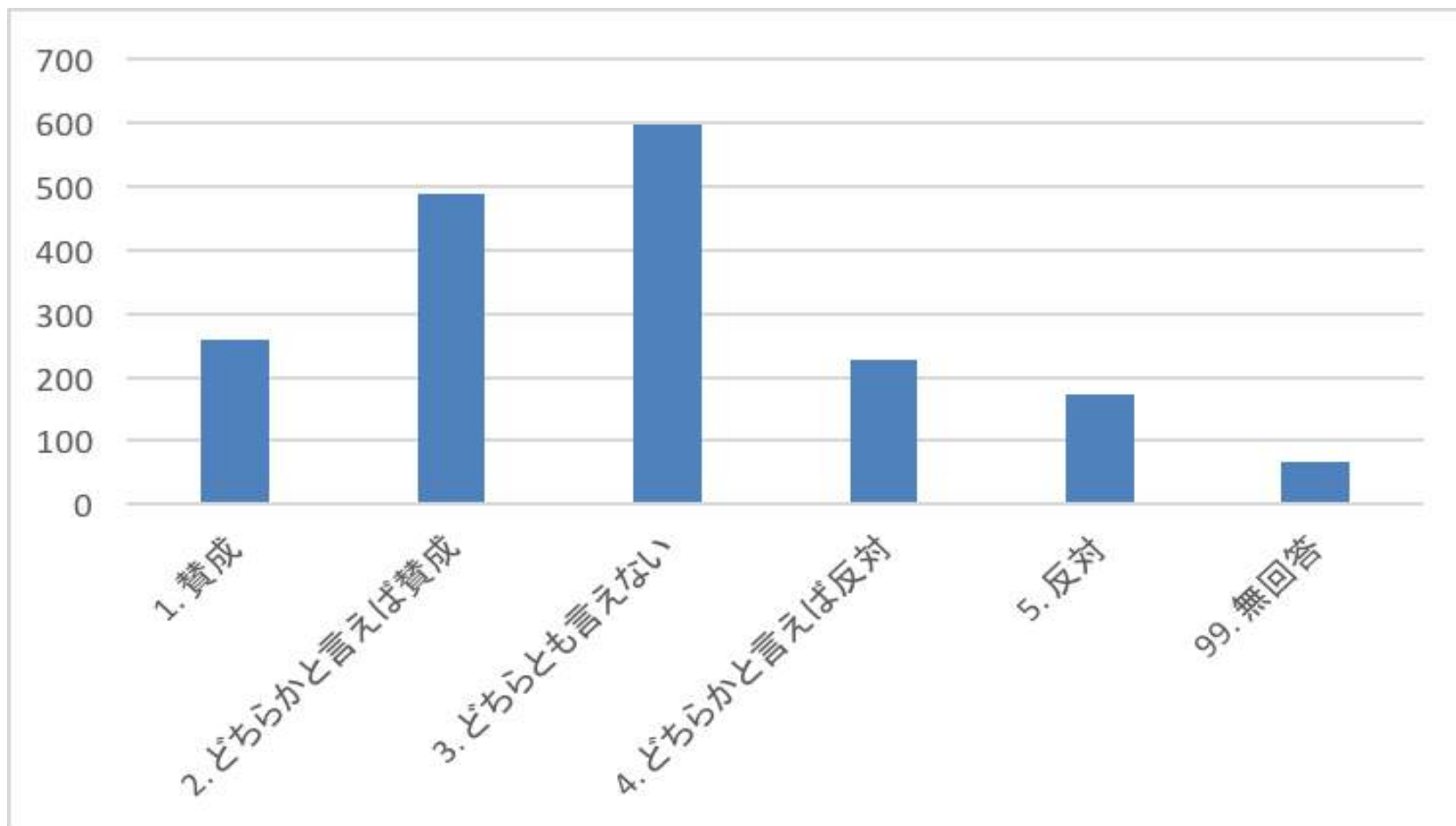
# 問16 (6) 公共事業による雇用確保は必要だ



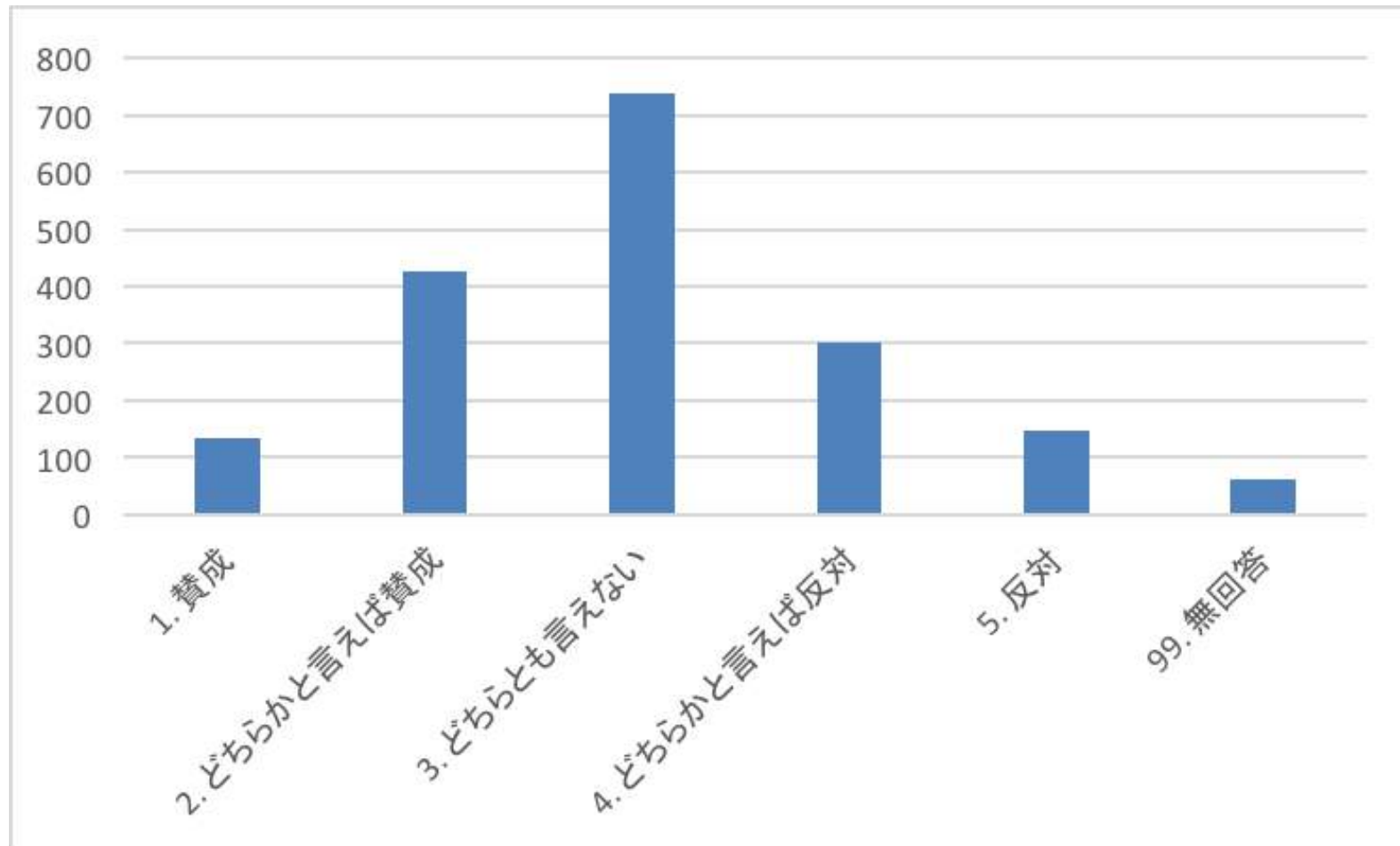
# 問16 (8) 長期的には消費税率が10%よりも高くなるのはやむをえない



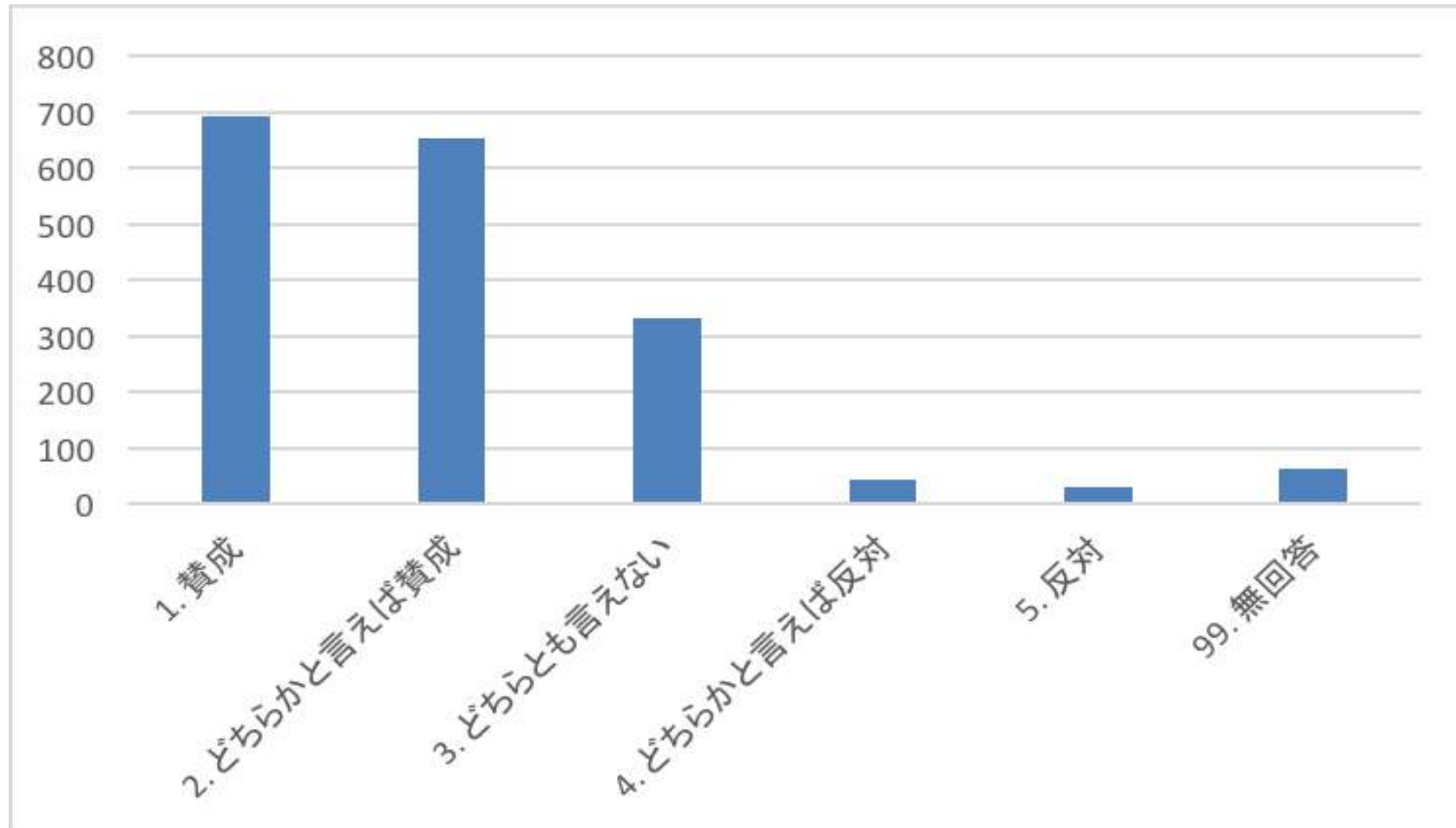
# 問16 (11) 治安を守るためにプライバシーや個人の権利が制約されるのは当然だ



# 問16 (13) 外国人労働者の受け入れを進めるべきだ



# 問16 (14) 道徳教育をもっと充実させるべきだ



# 問16 (15) 原子力規制委員会の審査に合格した原子力発電所は運転を再開すべきだ

